

KYO wave

キョーウェーブ

2021 AUTUMN



◆巻頭特集

きもの産業のコロナ禍
パート3

産地トップインタビュー
「きもの産地のコロナ禍」

再現 女性の服装1500年
第44回日本染織作家展
きものサローネ 2021
国際フォーラムEで開催

- 9 巻頭特集
「きもの産業のコロナ禍」パート3
- 25 産地トップインタビュー
きもの産地のコロナ禍
- 33 振袖特集
- 47 織物特集
- 56 2021-2022
JOTARO SAITO KIMONO STYLE COLLECTION
- 58 日本きものシステム 奄美産地へ「産地と共に繁栄を」
- 60 イマジンワンワールド KIMONO プロジェクト
「東京五輪開閉会式、採用ならず」
- 62 京都染織祭の歴史
再現 女性の服装 1500 年
- 70 コミュニケートプラザ
- 83 第 44 回日本染織作家展 出展作品紹介
- 92 きものサローネ 2021 東京国際フォーラム
- 95 第 2 回京都カジュアルキモノ展
- 96 京都きものオーデイション



美桜
Mio Imada
FURISODE COLLECTION

〈表紙〉
有限会社なべしま
今田美桜さん

きものの産業の コロナ禍

パート3

取材・文
株式会社信用交換所京都本社 松井敦史

「和装産地の危機」

昨年の当欄は次の一文で始めた。

「2020年、日本は東京五輪で世界中から注目を集めるはずだった」。

昨年3月、世界を襲った新型コロナウイルスにより東京五輪の延期が早々と決定、緊急事態宣言発令で安倍前総理は「日本経済は戦後最大の危機」との認識を示した。同時にきもの業界も「戦後最大の危機」に突入した。緊急事態宣言後、全国の呉服専門店、チエーン店でも休業、時短営業、催事中止が相次いだ。流通は止まり、在庫は動かず、川上への発注も止まった。

あれから一年が過ぎた。

このほど東京都に4度目の緊急事態宣言が発出された。東京五輪は土壇場で「無観客開催」が決まった。日本国民のコロナ禍はまだ終わりそうにない。表題の「きもの産業のコロナ禍」は一度限りの特集のはずだったが、今回で「パート3」となった。前回、前々回ともにコロナ禍に伴う小売市場の影響を中心に取り上げたが、今回は京都産地の状況・実態を取材した。令和2年（1月～12月）の丹後織物生産数量は39・1%減、西陣織推定出荷数量は31・6%減、京友禅生産反数は26・1%減となった。実体はこの数字以上に厳しく、生産の最上流、個人零細の織工、友禅職人レベルでは「毎月100枚以上の仕事がゼロになった」「発注が数カ月間止まったまま」という話が珍しくない。特に産地においてはコロナ禍前から、職人の高齢化、低収益性、道具・織機の老朽化で弱っている先が多く、事業の継続性において非常に厳しい状況に追い込まれており、コロナ禍が追い打ちをかけることになりかねない。

コロナ禍により小売、問屋も非常に大きなダメージを負っている。それでも今、業界全体で産地の現実・未来に対して想像力を働かせねば、近い未来、「モノをつくれぬ」という大変な事態を招く恐れがある。モノがつくれなくなれば、問屋、小売は売るモノをなくす。すでに産地の一端では高度な織物技術を要するモノから順に伝承が厳しくなっている。

丹後織物産地

「丹後ちりめん300年」のコロナ禍

1719年、丹後峰山の絹屋佐平治（のちに森田治郎兵衛と改名）は、西陣に修行奉公した。

中国から伝わり西陣で発展したちりめん技術を学び丹後に持ち帰れば、地域の発展につながると考えたからだ。なかなか製法の糸口はつかめなかったが、ある日、ちりめんは製織する前にヨコ糸に強いヨリをかけてから織なしていることに気付いた。そのヨリは数千回にも及ぶ。織り方ではなく、織る前の段階に技術の肝があったのだ。このヨリこそがちりめんの特質「シボ（生地全体にできた細かな凹凸）」を生み出す。1720年、ちりめん技術を習得した佐平治はこの技法を丹後に持ち帰り広く伝授した。

1730年、西陣では大火「西陣焼け」が起きた。3千数百軒が被災し3012機を失い壊滅同様と伝わる。ちりめんは極度の品薄に陥った。これを受けて、丹後には注文が殺到、その技術も認められ、一大産地へと発展を遂げた。

2020年、絹屋佐平治が丹後にちりめん技術を伝えた年から300年を迎えた。この節目を迎えるに当たり、丹後織物工業組合では織物文化と地域の魅力の発信に努めてきた。この数年、産地の次なる方向性として世界最高のテキスタイルクリエーション産地を目指し、グローバル市場へのチャレンジを続けてきた。また未来を見据え、長年の課題であった加工料の値上げを実施、化学繊維物の加工を中心に操業してきた岩滝加工場を中央加工場へ統合。「丹後300年」は新たなステージへ駆け上がる飛躍の年となるはずだった。

しかし、コロナ禍発生。昨年春の緊急事態宣言で和装市場の商いは止まった。その影響は即座に産地に及んだ。4

月、5月の生産数量は約定・仕掛かりの関係から15%内外の減少にとどまったが、京都市内の白生地間屋は在庫が積み重なり、新規発注は激減した。その後、夏場の閑散期に入ると例年よりも早く休機に入った先も多く、6月64.0%減、7月60.1%減、8月58.0%減と前年比40%水準の生産量にとどまった。組合は、中央加工場の組合精練の稼働を半減させた。秋に入り本格的に前売催事は再開したが、前売は春商戦向けに用意した在庫を抱えており注文は戻らなかった。9月58.9%減、10月45.6%減、11月49.9%減と前年比5割前後の水準が続いた。結果、令和2年の生産数量は25万3429反で前年比39.1%の落ち込みとなった。

丹後織物工業組合加工場では、織物の生産数量の減少に対応し、加工場運営の健全化・効率化を図るため臨時休業を78日実施した。加工料は、前年度に本絹小幅織物300円をはじめ共同加工施設分担金を値上げしたことが大きく、同織物は点数が41.0%減となるなか加工料収入は21.4%減にとどまった。先染織物も生産調整を余儀なくされ、5割以上の減産を強いられる先も目立った。特に先染めは出来高制の高齢者の個人零細先がほとんどで、先行きが見えないことから廃業した先、廃業を余儀なくされる先の話も多々と聞いた。

一方、令和2年（1月〜12月）の白生地輸入数量は前年比12.7%減の17万8千反（4.81m/反）と微減にとどまった。なかでもそのほとんどが振袖用途であるベトナム産の紋小幅は同1.4%減とほぼ前年並となった。振袖はコロナ禍の昨年も大手写真館が新規に振袖レンタル事業に参入したことで特需があり、京友禅生産数量も7.0%増とプラスだった。

丹後ちりめん300年の節目、コロナ禍が産地の姿を大きく変えた。産地がグローバル市場への挑戦を進める一方、皮肉にも白生地輸入数量が丹後産地生産数量を上回った。それでも、失われるものがあるから得るものがある。生産、流通、市場が大きく変化する今、どこかに光はあるはずだ。

織物工場の現実

丸染織物工場（京丹後市網野町）はコート地、訪問着、小紋などの紋織物を内機で製織する。昨年春、緊急事態宣言の影響で5月〜7月は前年比約70%減の落ち込みが続いた。9月〜12月は回復したがそれでも約20%〜30%減の落ち込みだった。井上社長は「私たちは、基本的には白生地問屋さんからいたたく仕事で生きています。待つだけでは仕事が減るだけだから、自ら商品をつくって前にもって行ってはとの声もありますが、在庫負担、経費、人の問題もあり容易ではない」と話す。機を止めて、職人さんに休んでもらっていいは職人さんが辞めてしまうかもしれないと、在庫過多の状況が続いたが稼働を続けた。そしてこれまでどおり、創意工夫し図案や意匠をつくり問屋に提案するなかで、自分たちのつくった紋意匠が大河ドラマのキャストの衣装に採用された。井上社長は「ものづくりの力で乗り切りたい」と話す。

明治40年創業の、大型擦糸機、整経機、織機を備えた総合工場の安栄機業場（京丹後市網野町）は自家擦糸に特長があり、本格友禅の紋意匠や無地物を内機で製織する。しかしながら昨年5月下旬から6月下旬までの1カ月間、一部で擦糸の仕事はあったものの機は止まったような状況に陥った。昨年秋季以降も前年比20〜30%減の状況が続いている。安達社長は「正常に戻った時、どれくらい回復するのか、それとも今の水準が続くのか、先行きが読めない」と話す。先行きが読めないゆえに積極的に糸の仕入れ、ものづくりができない。

今の全国和装産地の縮図がここにある。現状の売れ行きが鈍く、先行き見通しが悪いからものづくりを調整する。商品が減る、商品種が減る、産地全体の生産数量が減る。そして全体の減少が止まらないから、ものづくりを調整するという負の連鎖が続く。

令和2年度 加工実績

加工別	加工高		前年対比 (%)		
	数 量	加工料	数 量	加工料	
精 練	本絹	126,252 点	150,423 千円	△ 41.0	△ 21.4
	化合織	1,150 点	2,508 千円	△ 93.8	△ 95.5
染 色	本絹布染	676 点	3,818 千円	△ 36.4	△ 45.4
	糸練・糸染	8,918 kg	17,831 千円	△ 40.8	△ 30.9
整 理	再練・再整理	18,810 点	63,811 千円	△ 20.5	34.5
合 計	点数	146,888 点		△ 43.5	
	量目	8,918 kg	238,391 千円	△ 41.0	△ 32.2

令和2年1月～12月分 生産数量

品 名	平成31年1月～令和元年12月 (反)	令和2年1月～ (反)	前年同期間比 (%)
一越・古代	1,267	571	△ 54.9
変わり無地	41,188	22,509	△ 45.4
小 計	42,455	23,080	△ 45.6
軽 紋りんず	21,159	12,152	△ 42.6
重 紋りんず	30,344	23,319	△ 23.2
紋・銀意匠 朱子二重	134,772	78,041	△ 42.1
絹 ・ 紗	11,986	6,950	△ 42.0
その他の紋	2,184	2,610	19.5
金・銀通し	8,726	6,993	19.9
縫取絵羽	1,803	1,188	△ 34.1
小 計	210,974	131,253	△ 37.8
合 計	253,429	154,333	△ 39.1
パ レ ス	5,532	3,040	△ 45.0
紬	2,358	1,535	△ 34.9

令和2年1月～12月分 輸入数量

資料…通関統計

	紋小幅	無地小幅	小 計	絞り小幅	合 計
韓 国	0 (0.0)	0 (0.0)	0 (0.0)	159 (△ 54.4)	159 (△ 56.9)
中 国	25,582 (△ 23.0)	4,067 (△ 66.0)	29,919 (△ 34.3)	1,161 (△ 43.3)	31,080 (△ 34.7)
ベトナム	120,435 (△ 1.4)	26,770 (△ 22.1)	147,205 (△ 6.0)	253 (△ 3.7)	147,458 (△ 6.0)
その他	0 (0.0)	0 (0.0)	0 (0.0)	160 (49.6)	160 (49.6)
合 計	146,287 (△ 6.1)	30,837 (△ 33.5)	177,124 (△ 12.3)	1,733 (△ 37.4)	178,857 (△ 12.7)

単位：反 / () 内前年対比

京友禅産地

過去最大級の危機

令和2年度の京友禅生産数量は前年度比26.0%減の27万5521反（令和元年12月1日～2年11月30日）となった。今回調査から新たに16事業所が統計に加わったことによる底上げがあるが、新型コロナウイルス感染症拡大の影響は大きく、平成19年度の原油価格高騰、たけうち倒産時の24.7%減を上回り過去最大級の落ち込み率となった。

品目別でもっとも落ち込みが大きかったのは留袖の71.6%減。結婚式延期・中止の影響で需要が激減した。2番目に落ち込んだのは八掛をはじめ和装バッグや鞆の生地や染めとなる和装小物で49.1%減。こちらもフォーマルシーンの消失が影響した。そして、外出自粛に伴うきもの着用シーンの減少から着尺が30.3%減、付下げ39.8%減、訪問着36.4%減となった。対して振袖は前年比7.1%増と伸び、3年ぶりに7万反台に回復した。既存先の受注量は大きく落ち込んだが、昨年、大手写真館スタジオアリスが振袖レンタル事業（ふりホ）に新規参入したことでまとまった受注が入った。

加工技術別では、手描染が40.3%減と大きく落ち込んだ。手描染のなかでも訪問着は前年度比55.0%減と半減以下の水準。同じく加賀友禅の苦戦も伝わるが、結婚式、入卒式、祝賀パーティ等々、フォーマルシーンが失われたことが手描友禅の受注減に直結した。一昔前と比して、きものルールは問われなくなっているが、手描友禅とフォーマルきものを結び付けて販売してきたことが仇となったともいえる。対して、インクジェットは前年度比4.9%増と続伸。10年前との比較では84.8%増と2倍に迫る勢いだ。上述した大手

写真館の発注が大きく、インクジェット振袖が前年度比10%近い増産となった。

まとめると、コロナ禍により京友禅工場への仕事量は手描染めを中心に、着尺、訪問着、付下げと大きく落とした。一方、大手写真館のまとまった発注によりインクジェット振袖は増加した。

令和3年度に入ってから、コロナ禍の継続によりフォーマルを中心に受注は回復していない。振袖は上述の大手写真館からの追加発注が下支えするが、概ねロットを減らしている。よって、「回復」と呼べるまでの段階には至っていない。今の状況が続けば、絶対的な仕事量不足から工場の廃業・縮小、高齢職人の引退は避けられない。京友禅生産数量減少は、業界内の仕事量の減少のみならず人が減り、技術が失われていくことを意味する。京友禅は過去最大級の危機に差し掛かっている。

京友禅生産数量は10年前の平成22年度と比較すると約40%のマイナスとなっている。訪問着は約5分の1、着尺・付下は半分以下の水準にまで減った。インクジェットの増産が続くなか型染、手描染は減産の一途をたどり、そこに関わる工場、従事者も減り続けた。そしてコロナ禍で仕事量が著しく減ったのも型染、手描染であり、職人問題は更に深刻化し、技術継承の問題は佳境を迎えている。

厳しい先行き見通し

今夏、東京五輪が世界から注目を集める中、京友禅の本場、室町問屋街は閑散としていた。祇園祭の山鉾巡行中止・縮小から例年の祇園祭催事も中止。縮小を余儀なくされ、夏場の売上の核を失ったような状況だ。多くの先がまだ雇用調整を継続しており、現場は本格再開に至っていない。ワクチンが普及し、コロナ禍がある程度収まったとしても、売上が回復するのかも未知数であり、今秋もコロナ禍前（2年前）の水



準への回復は厳しいとみる。

結婚式、パーティ、御茶席といった着用シーンが失われたままで、いくらワクチン接種が進んでもこの秋にフォーマルシーンが本格再開するとは考えにくい。そのため、小売・問屋ともに仕入れを抑制しているが、それでも在庫は高水準の状況にあり、見切り・在庫処分による値崩れも生じている。そのため新商品の見込み生産はなくなったような状況が続いている。

まだ動いているのは成人式需要が見込める振袖。昨年、大手写真館が新規参入したことで、京友禅問屋にも一部で特需が生じた。だが、成人人口そのものが減少基調にあり振袖市場は縮小基調にあるなか、一小売店の伸長の陰には、一小売店の衰退があり、決して全体が増えているわけではない。また来年もコロナ禍の影響で成人式が中止・延期になる可能性は払拭できない。そのため市場では、購入・レンタル予約を先送りあるいは見送るケースが増えている。昨今の振袖予約は通年に分散しており、大きくまとまる月はない。そのためジワジワ減っている状況だ。

染色加工別概況

染色加工別	数量 (反)	前年度比 (%)
型染	53,580	△ 21.3
手描染 (ろうけつ染含む)	30,477	△ 40.3
機械捺染	135,119	△ 32.3
インクジェット	56,345	4.9

京友禅総生産数量 (令和元年 12 月～令和 2 年 11 月)

(単位 反)

区 分	型 染	手描染	ろうけつ	機械捺染	インクジェット	合 計	前年比 (%)
着尺	13,865	4,392	254	82,241	76	100,828	△ 30.3
付下げ	808	4,463	22	0	0	5,293	△ 39.8
羽尺	137	2,235	0	48	0	2,420	△ 36.1
染帯	4,884	2,734	261	152	133	8,164	△ 13.7
四ツ身・一ツ身	4,136	312	0	0	45	4,493	2.8
同上絵羽	1,535	213	0	0	1,054	2,802	△ 31.2
長襦袢	2,336	2,534	0	37,920	123	42,913	△ 32.3
肩裏	186	781	0	14,530	16	15,513	△ 36.8
絵羽織	106	54	0	0	297	457	△ 9.0
訪問着	2,261	3,749	128	159	1,237	7,534	△ 36.4
振袖	18,951	819	1	0	51,554	71,325	7.1
小袖	0	4	0	0	0	4	—
打掛	0	13	0	0	83	96	△ 37.3
留袖	689	291	0	0	12	992	△ 71.6
のしめ	1,211	276	0	0	67	1,554	△ 17.1
ふとん地	0	0	0	0	0	0	—
和装小物	591	5,243	0	4	74	5,912	△ 49.1
身辺細貨地	5	313	0	0	0	318	△ 44.1
その他	1,151	1,241	0	65	1,574	4,031	△ 38.5
小 計	52,852	29,667	666	135,119	56,345	274,649	△ 25.0
小紋着尺地	8	0	0	0	0	8	△ 97.3
小紋羽織地	0	0	0	0	0	0	—
その他の小紋	720	144	0	0	0	864	△ 85.2
小 計	728	144	0	0	0	872	△ 85.8
合 計	53,580	29,811	666	135,119	56,345	275,521	△ 26.0

西陣産地

西陣織の減少に拍車

令和2年（1月～12月）の「西陣織推定出荷数量と金額」がまとまった。帯合計は前年比31.5%減の26万296本。同じく帯産地の博多産地の織生産数量（小物、生地を除く）が同45.4%減の3万1894本、桐生産地の帯地が同53.6%減の5万3806本であり、帯の三産地ともに生産出荷を大きく落とした。

西陣帯地出荷数量の推移をみると、3年前（平成29年）との比較で45.3%減、9年前（平成23年）との比較で60.7%減、15年前（平成17年）との比較で80.2%減となる。15年前は131万3948本であり、当時との比較で年間数量は100万本以上減った。この15年間にリーマンショック、東日本大震災、そして現在進行形のコロナ禍があったとはいえ、落ち込みは余りに大きい。よく和装産地の衰退は衣文化の洋装化が理由とされるが、現実的には平成時代後半からをみても西陣産地の生産数量は8割減に至った。西陣織の出機が稼働する丹後産地は15年前との比較で85.5%減だ。

品別では、伝統的手業による品目の減少が目立つ。西陣織工業組合は手織帯の合格帯に「西陣手織帯証紙」を発行する。同発行枚数をみると、平成17年3860枚から令和2年385枚へと15年間で90.1%減。また西陣織技術の代表格である爪搔本綴帯の同発行枚数も平成17年2148枚から令和2年252枚へと88.3%減となった。

証紙発行枚数の減少は、織屋の減少、織機の減少、織工の減少を意味する。この15年間で西陣織工業組合の組合員数は606社から316社へと約半減した。同組合が承認した手機の台数は1380台から705台に、つづれ機は219台

から80台に減った。そして実数こそわからないが、ここに関わる商人が減った。伝統的手業を後継者に伝えることのできる技術者が減った。織機の組立や修理のできる職人が減った。

そしてコロナ禍、仕入れが止まり、機が止まり、引退を決めた伝統的技術者の話も聞かれた。減少に拍車がかかった。果たして、コロナ禍が終われば減少は止まるのか？コロナ禍の落ち込み分は元に戻るのか？過去のデータ上は、リーマンショックが終わっても、東日本大震災の消費影響が過小になっても、産地の出荷数量は元の水準に戻らず、さらに数字を落とした。仮に15年後、8割減ならば西陣帯の出荷数量は5万本、手帯織は50本ほどになる。決して、非現実的ではない。15年前、ここから8割減になるとは誰が予想した？産地を未来につなげるために、業界全体でこの減少に対する歯止め策を考え、取り組まねば取り返しのつかないことになる。

ウイズコロナ

4月1日～2日、西陣織工業組合と博多織工業組合は、京都文化博物館（京都市中京区）で「西陣織 博多織 『大桜花 創作展』」を開催した。意外にも二大織物産地の西陣織と博多織の両組合にある合同展は初の取り組みだった。コロナ禍のなかモノづくりを続けてきたメーカー、職人の再出発の契機となるよう、サブタイトルに「POST（ポスト）コロナ再出発、職人さん応援 特別キャンペーン」と銘打ち、西陣から17社、博多から8社、計25社が出席した。当日は両組合の想定以上の来場があり、会場では活発な商談が行われ、取引につながったケースもあったという。

西陣織工業組合は、同展のみならずこのコロナ禍においても積極的に織元、職人の販売機会を設けた。

6月4日～6日、緊急事態宣言下の東京で「西陣織元コレクシヨン TOKYO」を予定通り開催した。コロナ禍でのイベントは中止して当然という雰囲気にあるなか、同組合では

「できることから行動をしなければ今の状況を変えていくことはできない」と考え、スタッフ全員がPCR検査を行い、感染予防・防止策を徹底したうえで開催に踏み切った。厳しい制作環境におかれている織職人の応援が目的で売上げの一部を関連工業の団体を通じ職人に還元した。

異論はあるだろうが、確かにできることから行動することが求められる。

今夏はワクチン接種が進んだことでPCR検査陽性者数が増え、死亡者数は同じような波で増えなくなった（8月中旬時点）。それでもニュースは連日、PCR陽性者数ばかりを危機的に報じ続ける。人々の消費心理も冷え込んだまま経済の回復も遅れている。2020年度の我が国の実質GDP（国内総生産）は前年度比マイナス4.6%と、比較可能な1995年度以降で最大の下落となった。経済と自殺者数には高い相関関係があり、毎月のように自殺者数がコロナの死者数を上回るが、テレビに出る医療の専門家も為政者もマスコミもこの件にはなぜか無関心だ。飲食業、観光業のみならず、お出かけ・パーティ需要を失ったきもの業の疲弊も深刻だ。

「ゼロコロナ」を待ち、引きこもってはいはこのコロナ禍の出口はみえない。「ウイズコロナ」でイベント・経済活動を再開していかねば、私たちはコロナ禍により本来失わなくていいものまで失いかねない。その一つが、全国和装産地の伝統技術でもある。



令和2年 西陣織推定出荷数量と金額

	数量	前年対比	金額	前年対比
丸 帯	420 本	△ 49.7	43,664	△ 36.7
袋 帯	162,032 本	△ 32.8	7,392,603	△ 26.3
なごや帯	12,371 本	△ 43.4	240,074	△ 25.5
袋なごや帯	1,832 本	△ 54.2	112,574	△ 49.0
綴なごや帯	668 本	△ 44.3	125,217	△ 32.2
黒 共 帯	4,969 本	△ 47.3	29,813	△ 47.5
そ の 他	78,004 本	△ 23.4	154,003	△ 29.7
帯 合 計	260,296 本	△ 31.5	8,097,948	△ 27.1
正絹きもの	33,284 反	△ 14.4	1,143,571	△ 12.7
ウール着尺	0 反	—	0	—
きもの合計	33,284 反	△ 14.4	1,143,571	△ 12.7
金 襦	273,543 ㎡	△ 9.6	1,339,275	△ 19.7
ネクタイ	633,482 本	△ 17.0	653,315	△ 18.7
マフラー	0 枚	—	0	—
和装ショール	294 枚	△ 89.6	1,648	△ 89.5
ストール	2,929 枚	△ 38.6	4,437	△ 42.3
室内装飾用織物	15,680,263 ㎡	△ 4.8	6,840,530	△ 14.4
服 地	4,240 ㎡	△ 34.7	12,710	△ 34.8
そ の 他	—㎡	—	301,028	—
総 合 計			18,358,462	△ 19.9

(単位 金額：千円、前年対比：%)

帯地・きもの証紙発行枚数

	平成 17 年	20 年	23 年	26 年	29 年	令和 2 年
丸 帯	350	1,292	1,304	100	466	964
袋 帯	651,024	457,023	362,442	315,643	232,983	122,343
なごや帯	100,348	92,864	72,398	55,778	50,656	22,127
袋なごや帯	10,948	24,051	7,937	4,708	6,254	1,080
黒 共 帯	117,537	59,179	0	0	11,190	4,100
そ の 他	12,710	9,568	4,814	7,992	5,782	1,896
帯地総数	892,917	643,977	488,047	408,665	307,331	152,510
爪搔本綴帯	2,148	994	1,328	1,044	612	252
き も の	49,752	36,030	23,375	16,550	10,530	10,970

産地の可能性

6月24日から27日、京丹後市、与謝野町で織物や機械金属など丹後地域の「もの作り」の現場を紹介するイベント「DESIGN WEEK TANGO 2021」（実行委員会など主催）が行われた。モノづくりの担い手たちの仕事を直接見て、オンラインで交流することを通じてモノが生み出されていくプロセスを体感できるというもので、21カ所の事業所が参加した。同日、取材で与謝野町の柴田織物を訪れた。刺繍のような立体感を表現できる「縫取りめん」の技法と現代的な感覚を掛け合わせたものづくりが得意で、近年は著名デザイナーのコレクション生地や映画衣装など独自にちりめんの可能性を広げてきた。この1年の売上推移を尋ねると意外な答えが返ってきた。「ウチはこの1年、前年比2%減です」。このコロナ禍、丹後織物のみならず日本全国の和装産地がかつてない落ち込みとなったなか、ほぼ前年並の売上ができたというのだ。

昨年10月、世界各地に眠る美しいモノを探す旅番組「世界はほしいモノにあふれてる（NHK）」で2週続けてきものが特集された。番組内では、絹織物産地丹後で挑戦を重ねる職人たちが取り上げられ、そのなかで柴田織物は「自ら考案したデザインを思い通りに織に表現するのが得意でハリウッド映画に登場するキャラクターの帯をつくったこともある」と紹介された。また最近取り組んだ「不思議の国のアリス」の物語をきものに織り込んだ力作が番組内で取り上げられた。反響は非常に大きく、放映後、数十件もの商品の問い合わせ、SNSでは一千件以上の反応があった。

また柴田織物はコロナ禍においても、催事イベントや組合の振興活動に積極的に参加した。京都の織の職人ユニットである「hibaco（ひばこ）」プロジェクトに参加し、



YOUTUBEでの発信をはじめ、ネット上でお客様との交流を続けてきた。代表の柴田祐史氏は「長い間、私たち職人は問屋さんの好むもの、問屋さんの顔色をみてもものづくりをしてきたように思うのです。これから生き残るにはそれではダメでお客様のほしいものをつくるのが一番だと思います。お客様のほしいモノ、つまり本当に売れるモノをつくるのができれば、私たち産地の人間も下請け仕事から脱却し、未来を拓くことができるはずですよ」と話す。自社制作の織物に人気が出たことで、収益性も上がり、機織りを伴わない織物デザインのみの仕事や、デザイン監修の仕事が増えたという。話を戻すが、「DESIGN WEEK TANGO」の期間中も、オンラインや実訪などで多くの消費者と交流した。「消費者と交流することで、どんなものが売れるのかも見えてきますね」と柴田氏は笑う。

ここに産地織物の可能性を見た気がした。

値札の意味

7月1日から2日、京都烏丸コンベンションホールで行われた「第1回 京都カジュアルキモノ展」を取材した。同展は事業者向けのカジュアルキモノ合同展示会で全国から19社がブース出展した。いくつかのブースでは商品に値札が付いていた。珍しいとまではいわないが、きもの事業者向け展示会ではあまり目に見えないものだ。一般客の入場できない展示会なので念のため出展者に「値札は下代ではなく小売上代ですよね？」と尋ねると、いずれもそうだった。

カジュアルキモノは格式ばらず気軽に着るきものだ。もちろん価格帯も買い易くあるのが理想的だ。そのためにメーカー・問屋が上代設定し、価格を守る。メーカー・問屋発信の商品のブランド化において、web上で希望小売価格を打ち出すのは、いまや戦略上不可欠なことで、アパレルをはじめあらゆる商品で行われている。

一般的にきもの価値・価格はわかりにくいものだが、振袖セツトはわかりやすい。購入、レンタルともに商品のランク別に価格帯の目安があり、消費者がネット上でそれを調べることが容易だ。スタジオアリスの振袖レンタル「ふりホ」が好調なのも第一に値段でわかりやすい価格にあるからだろう。振袖が事業者にとって販売（レンタル）しやすく、消費者も買い（借り）やすいのは、きちんとした価格・価格帯が確立されているからだ。

対して、一般呉服の価格はわかりにくい。特にきもの展示会では「今日だけ特別に半額にします」と提案されても、そもそもその値札が適正なのかわからない。スマホで検索しても、商品の特性上、同一商品を見つけたことは難しい。すなわち、半額といっても基準となる値札の正当性を計ることができない。値札に正当性をもたせるとしたら、実際に一定期

間その価格で販売しなければならぬが、きもの販売の一端ではこの法的ルールが守られていない。

メーカー・問屋が上代（希望小売価格）を設定しウェブサイトに出すことで、消費者に対する値札の正当性という信用を付与することができる。時代は急速に変わっている。今はモノを買う前にスマホで価格を調べる時代だ。価格を気にする消費者層を相手にしていない」との声が聞こえてきそうだが、だからきもの業界は縮小を続けたのだ。カジユアルキモノのみならず、他の商材においてもこのような動きが広がることは、きもの消費者を増やすことにつながる。

産地固有の問題ではない〜奄美産地の今〜

7月26日、国連教育科学文化機関（ユネスコ）の世界遺産委員会はオンラインで開かれ、「奄美大島、徳之島、沖縄島北部および西表島」（鹿児島、沖縄両県）の世界自然遺産登録が決まった。

このニュースを聞いた時、2年半前に取材で訪れた奄美大島ひいては奄美大島紬が頭によぎった。奄美大島紬の生産数量は平成時代30年を通して減少した。織元、織工、各工程の技術者たちも減り続けた。生産インフラそのものが大きく失われた。近年は生産数量の極度の減少から需給バランスが逆転しつつあった。しかし、新規の問い合わせがあっても織元は一年先に納める受注仕事で手が一杯、あるいは織工が確保できず受注に着手できないという状況にあり、需要があっても生産数が減る「自然減」の状況にあった。

この奄美産地に全国の絹織物産地の近い未来をみたような想いに至った。生産インフラの破損から難度の高い織物から順に織れなくなっていく。需要が縮小するなか、供給も縮小し、どちらの経済規模も縮小することにより均衡を図れると

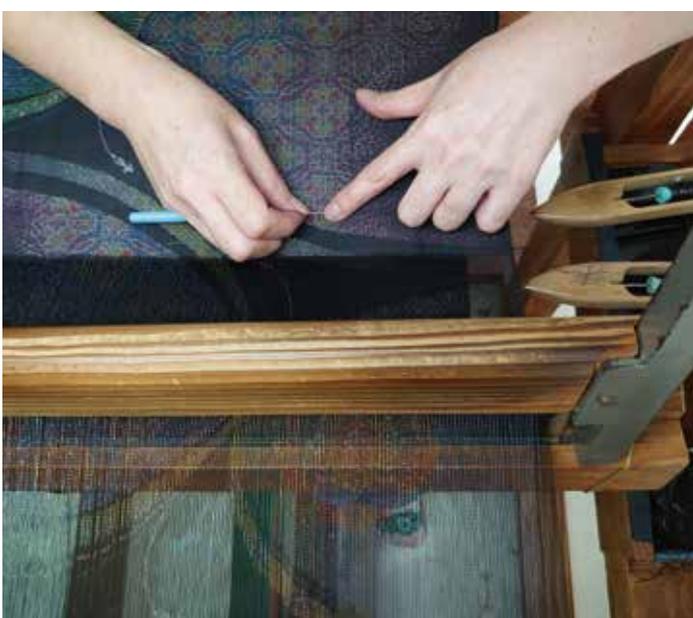
いう縮小均衡の現象も織工の高齢化や絶対的後継者不足から長くは続かず、次第に生産インフラの破損を加速化させる。同時に生産の「自然減」は加速度を増し、流通供給量は極端に減る。同じようなことが、全国の絹織物産地で起きかねないという危惧した。

そして、奄美を訪れてから1年後、コロナ禍が世界を、日本を、全国の絹織物産地を襲った。2020年の生産反（本）数は京友禪26.0%減、丹後ちりめん39.1%減、十日町21.6%減、博多織44.0%減といずれの産地もかつてない落ち込み幅となり、コロナ禍が続くいま、まだ回復への道筋はみえない。

危惧するのは、生産インフラの最前線である。京友禪産地の型染職人、丹後産地の製織技術者、大島紬の織工等々、産地技術者の高齢化が問題化してから久しく、年金生活者・団塊世代が主力として担っているのが現状だ。いつ引退してもおかしくない年代が、仕事量が激減することにより辞めてしまわないのか。引退が問題なのではない、後継者不足により技術伝承がままならないことが問題なのだ。それが産地存続の危機の問題にまで波及しないかと危惧するのだ。これは産地固有の問題ではない。きもの市場は、売るモノをなくす。きもの業界全体で危機意識を共有し、対策を打つことが求められる。



奄美産地に話を戻す。2020年の生産数量は3385反で前年比28.6反減となった。落ち込み幅は7.8%減と他産地と比較すれば小さい。大手小売商が年間計画に沿った発注を行っていることが下支えしたとみられる。それでも低水準が続いており、毎年、更に下回る状況に変わりはない。そんななか奄美大島が世界自然遺産に登録された。奄美大島紬は、奄美の自然なくしては生まれなかつた織物だ。伝統の龍郷柄は奄美の動植物等が図案化されたものが多く、泥染は奄美に自生するテーチ木と奄美の鉄分豊富な泥を用いた泥染等々、自然の産物ともいえ世界自然遺産の象徴にも成り得る。諸説あるが、大島紬は「世界三大織物」の一つにも数えられる。今後、きものファンのみならず国内外から注目を集めるだろう。そのとき、大島紬はニーズに応えることができるのか？ 発注に対応することができるのか？ 繰り返すが、これは産地固有の問題ではない、きもの業界全体の問題だ。



産地トップインタビュー

きものの産地の コロナ禍

昨年1月から継続するコロナ禍により、「カジュアルきもでお出かけ」「パーティ、御茶席などのフォーマルシーン」「冠婚葬祭」といったきもの着用機会が大きく失われたことにより、全国のきもの産地は非常に厳しい状況下にある。

このようななか、丹後、京友禅、西陣織、いずれの産地も産地のリーダーである理事長が次の世代へと交代した。新たな理事長は、いずれも未曾有の危機であるコロナ禍への対応という難題に直面している。

コロナ禍により産地はどんな現状にあるのか？

産地組合はどのような対応をしてきたのか？

産地は持続できるのか？

新たなリーダーに聞いた。

■ 丹後織物

丹後織物工業組合 田茂井 勇人 理事長

■ 京友禅

京友禅協同組合連合会 山田 容永 理事長

■ 西陣織

西陣織工業組合 舞鶴 一雄 理事長

取材・文

株式会社信用交換所京都本社 松井敦史



丹後織物工業組合
理事長

田茂井勇人氏

丹後織物工業組合は今年5月の役員改選で今井英之前理事長に代わり田茂井勇人氏（田勇機業）が新理事長に就任した。同組合は今年創立100周年を迎えたが、新体制では理事の人数が20名から14名となったこともあるが11名の方が退任され、新たに6名の方が役員に就任、組合組織も大きく変更し、次なる100年に向けて新たなスタートを切った。

次なる100年に向けて、課題は山積している。足もとのコロナ禍による需要減退は言うまでもないが、それ以前から続く衰退傾向に歯止めがかかっていないこと。加工事業の収入も減り続けているが、このようななか老朽化した設備の更新、安定した加工運営を行っていかねばならないこと。そして組合員は個人の零細先がその中心にあるが高齢化、収入減少、先行き不透明から廃業が続いていること。

このような課題の一つ一つに向き合いながら、新世代が新たな考えで未来を切り拓くことに期待する。

―昨年4月以降の丹後産地の状況を教えてください―

田茂井「新型コロナウイルス感染症の蔓延により、丹後産地の状況は厳しい環境に陥りました。昨年4月に緊急事態宣言が全国に発令され、和装市場も止まったような状況になりましたが、丹後は先に注文をいただいていた約定・仕掛かりの関係もあり、4月はまだ仕事はありました。5月以降、生産数量も著しい減少となり、組合員には持続化給付金・雇用調整助成金をはじめとした給付・助成金の活用を呼びかけ、組合加工場は入荷減への対応とし木曜・金曜の臨時休業に入りました。秋に入り、仕事量はやや回復しましたが、前年実績の5割前後の水準と非常に厳しい状況が続きました。白生地はまだ工場生産する会社形態が多いので雇用調整助成金の活用ができていますが、丹後は西陣帯の生産拠点でもあり、先染めの織工場は個人の零細先がほとんどで出来高制で機織りを行っています。そのため仕事量の減少が収入の減少となった機屋もありました」。

―2020年、丹後ちりめん創業300年を迎えました。―

田茂井「組合では、京都府・各市町と連携し丹後ちりめん創業300年事業実行委員会を立ち上げ、丹後ちりめんの魅力を発信すべく様々な事業に取り組んできました。秋には「丹後ちりめん創業300年 SILK WEEKS IN TANGO / TANGO TEXTILE EXHIBITION」と題し、2000年から京都市内で開催してきた丹後織物求評



会を約20年ぶりに丹後産地で開催し、約1千人のお客様に会場いただきました。またジャパンクリエーションへの出展、百貨店催事への参加など300年の歴史や伝統を伝える事業も積極的に行いました。組合では今井前理事長の時に組合の組織改革をはじめ、今までの事業を見直しました。300年という節目に長年の問題に取り組めたことは未来につながると考えます」。

―現状問題についてですが、加工場の臨時休業に伴い、京都市内の白生地問屋からは精練加工において納期遅れが生じているとも聞きます。―

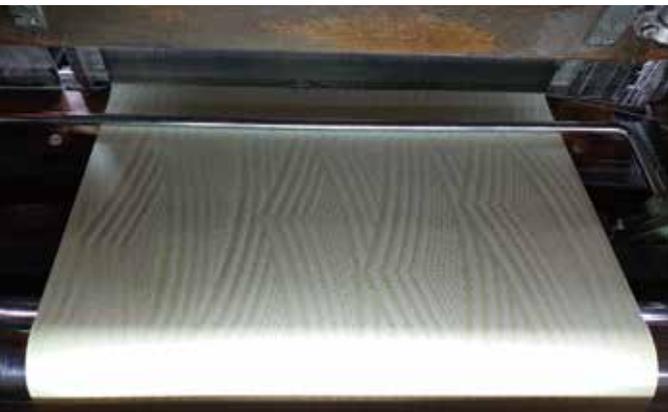
田茂井「大変ご迷惑をおかけしている次第ですが、コロナ前は1日当たり900反以上の仕事量を行っていました。それが昨年5月からはこの水準に遠く及ばない入荷量となっています。精練工程を行うには各工程

の作業員が休むわけにはいかず、月曜〜水曜は稼働し、木曜・金曜を臨時休業とし、現在（取材時点3年6月下旬）も継続しています。従来、3泊4日あるいは4泊5日でお戻りできていたものが、入荷日によっては2週間待ってもらうようなことも起きていました。組合としましては作業員の雇用維持も大事ですので、仕事量が戻れば速やかに元の水準に戻りたい次第です」。

「コロナ禍で人々のライフスタイルの変化もあり、特に結婚式やパーティ等のフォーマル需要が早期に回復するとは思えず、業界の市場規模ひいては丹後産地の仕事量が元の水準に回復するのは厳しいかもしれません」。

田茂井 「丹後産地を次代につなげるためには新たな核が必要であり、組合では議論を繰り返してきました。丹後は和装以外の分野でも、インテリア、広幅、洋装、ネクタイ

など様々な織物が生産できる懐の深い産地であり、広幅では海外輸出もしている機屋があり、徐々に進んでいます。和装にこだわらず、イイものづくりができれば、人も集まり、可能性



も広がると思います。とはいえ、現状をいえば丹後産地は圧倒的に和装で生きています。振袖を除く京友禅の生地・西陣帯の大半は丹後で生産しており、いわば丹後産地が成り立たなくなれば、国内のきもの生産が成り立たなくなります。和装生産を守るためにも、丹後産地は和装にこだわらず挑戦し、活路を見出さねばなりません」。

「生産現場では、職人の高齢化、機械の老朽化、事業の縮小化といった問題が露呈し久しく、年々、問題が深刻化しているように見受けられます」。

田茂井 「丹後産地は以前から、思うように生地価格が上がらない、加工賃が上がらない、そのうえ糸代、燃料代は上昇基調という厳しい状況が続きました。これらの問題は自助努力だけでどうにかなるものではありません。一部では積極的に先染めを行い自ら作った織物を提案する機屋もありますが、丹後の大半の機屋は個人の賃機で稼働しているがゆえ人材的な問題があり、また糸を買い、染と織を行い、在庫をもちと資金面のハードルも高いのが現実です。それでも職人の高齢化を止め、産地を次代につなぐには若い世代に入ってもらわなければならない。若い世代にとつて夢をもてる産地にならなければなりません。組合では、加工事業では老朽化した設備を順次更新していきますし、次の世代のためにも新たな販路開拓等の事業にも積極的に取り組んでいきます」。

「最後に、コロナ禍の後、これからのきもの業界について想うことがあれば教えてください」。

田茂井 「今後、きもの業界が継続するにはきもの業界が川上、川中、川下の垣根を越えて一丸となり、運命共同体としての意識をもつことが不可欠ではないでしょうか。日々の取引、流通のなかで互いの粗探しをするのではなく、互いが互いのことを思いやりフォローするように協力し合うことが大切だと思います。たとえば、白生地を納めた後、些細なキズが見つかりB反とされ、値引きを要求されるケースは珍しくないと聞きます。このようなとき目立たぬように染めをいれるとか、仕立ての際に難を避けて裁つなどフォローのできるケースもあるはずですが、川上、川中、川下の連携、互いがフォローをすることでトータルコストを下げることができるのであれば、より買いやすく消費者に提案できます。つまり、業界の流通が互いのことを思うことは消費者の利益にもなります。流通が互いのことを想うこと、フォローすることから業界が一つになればと考えます」。





京友禅協同組合連合会
理事長

山田容永 氏

京友禅協同組合連合会は今年、5月の任期満了に伴う役員改選で京都友禅協同組合の山田容永理事長が連合会の理事長に選任された。

同連合会は、昭和51年6月「京友禅」「京小紋」が伝統的工芸品産業の振興に関する法律に基づき指定されたのを契機に設立され、現在10団体が所属。京友禅・京小紋に関する和装振興事業を積極的に取り組んでいる。

京友禅業界は小幅染色の委託加工が中心であることから、生産加工数量の減少は、直ちに売上額（工賃収入）の減少に直結するものであり、年々生産量が減少する状況は、個々の事業所の経営を圧迫し、産地の活性化を阻害する要因となっている。このコロナ禍で原材料等の高騰に加えきものの消費需要の減退がさらに加速、経営難から事業の継続を諦める先も出ている。

コロナ禍の同業界では、まだ振袖は動いているが、インクジェット中心で型染、手描きの仕事は過小で、多くの工場・職人は携わっていない。フォーマルシーンが失われるなか、先行き見通しも厳しい。

―昨年4月以降の京友禅産地の状況を教えてください。

山田「新型コロナウイルス感染症が国内に蔓延し、景気は低迷・失業者も増加するなか、きものを楽しむ機会も大変少なくなりました。京友禅加工業者は仕事量が大きく減るなか、原材料の高騰もあり、大変厳しい状況に追い込まれ、経営難から事業継続を諦める先も出ています。

特に落ち込みが大きいのが京友禅の本流の手描友禅です。令和2年度（元年12月1日～2年11月30日）の京友禅加工技術別生産統計では手描友禅が約5万反から3万反へと2万反もの減少となりました。手描友禅は百貨店への流通も多く、フォーマル・セミフォーマルの王道として販売されてきましたが、コロナ禍で結婚式・パーティ・御茶会などフォーマルシーンそのものが失われるなか、需要が止まったような状況に陥りました。友禅作家のなかには京友禅メーカー専属に近い形で仕事をいただいている者も多い



のですが、毎月

100枚いた

ていた仕事

が50枚に減

ったとい

う次元では

なく、毎月

100枚にな

り、その状

況が何力月も

続いている

という現実

もあります。

コロナ禍が

終わらない

限りフォー

マルのマー

ケットがど

うなるのか

もわかりま

せんから、

メーカーさ

んも問屋さ

んも見込み

生産ができ

ないという

事情もわか

りませんが

、仕事がゼ

ロといった

状況は大変

つらいもので

、廃業を決

断される方

も増えてい

ます。」

―令和2年度

の京友禅統

計では全体

が26.0%減

となるなか

、振袖は7

.1%増と数

字を伸ばし

ました。

山田「コロナ

禍できもの

需要が大き

く落ち込む

なか、振袖

は成人人口

に対して一

定の需要が

あるとの見

込みからも

力を入れた

先が多かつ

たかと思

います。特

に昨年度は

のですし京友禪の流れを汲んでいます。振袖においては余りにもインクジェットが増えたことで、手捺染をはじめ他の加工の仕事量が激減したことは残念に思います。仕事量が減ることにより、作り手が減り、単価も上がりますから、インクジェットとの価格差はさらに大きくなり、ますます手仕事が減っています」。

「職人の高齢化、機械の老朽化といった問題も深刻化しています」。

山田「今も京友禪の職人になりたいと志してくれる方は多く、特に伝統産業及び美術系の学校の卒業生から問い合わせをいただきます。しかし、現実的にほとんどの友禪作家は自身の仕事量の確保さえ難しい状況です。また製造問屋では、かつてはデザイナーやデザイナーを抱える先も多かったのですが、近年は減りましたし、せっかく技術を学んでも働き口を紹介することもできません。このように若い人たちを受け入れられない状況を変えていかねば業界に未来がないと危惧しています。そのために京友禪業界でも新たなチャレンジをし、新たなマーケットを作る必要があります」。

「京友禪生産統計はコロナ禍前から衰退傾向が続いており、減少に歯止めがかかっていません。作り手の問題、機械の問題、すなわち生産に関わる問題が年々深刻化しており、コロナ禍による激減が産地に追い打ちをかけることにならないかと危惧しています」。

山田「京友禪業界は小幅染色の委託加工が中心です。生産加工数量の減少は工賃収入の減少、すなわち売上額の減少に直結し、経営を圧迫します。分業で行われているがゆえ廃業先が増えれば、加工工程の空洞化の問題も生じ、それが進行すれば京友禪生産の根幹が揺らぎます。この事態を止めるにはどうすればいいか？技術を守り、職人を守り、仕事を確保することが第一です。仕事を確保すべく手張り作家が増え、自ら作った商品をもって催事に向いている方もいます。ただこのように手張りするには白生地を買う資金と販売ルートが必要ですし、委託加工をやってきた職人の多くができないことでもあります」。

「足もとでは、ポストコロナにおけるビジネスモデルチャレンジ事業とし、西陣織工業組合、丹後織物工業組合、そして京友禪協同組合連合会の3団体の協働により、最新技術を活用した常設サイトがオープンしました。また3団体ではきもの以外の新たなマーケットへのチャレンジも行われています」。

山田「新たなマーケットとし、小物、インテリア、海外挑戦と可能性はあると思います。但し、京友禪生産は分業で行っており、その分業は一尺約38センチの小幅を基準とし全工程行われています。たとえば京友禪の最終工程には水洗、蒸しを経ますが、小幅にしか対応できません。広幅対応するには技術のみならず機械の入替も伴い現実的ではありません。つまり、きもの反物の幅で何がつかれるかを考えていかねばなりません。京友禪は世界に誇れる技術との自負はありますし、その意匠の評価は国内外

問わず高いものですから可能性はあると思っています」。

「最後に、コロナ禍の後、これからのきもの業界について思うことがあれば教えてください」。

山田「手張り作家が増えているというお話をしましたが、きもの業界が衰退していくなかで、商売リスクは川上に逆流し続けました。委託催事が広がったことで小売は仕入れをしなくなり、問屋はオリジナル商品の生産を減らし、産地が在庫リスクまで持つようになりまし。これまでもこの問題については議論を繰り返してきたと思いますが、いずれにしても、それぞれのポジションの方が今一度、己の役割についてきちんと考え、業界全体でものづくりを支えていく想いを共有していただければと思います」。





西陣織工業組合

理事長

舞鶴一雄 氏

西陣織工業組合は昨年3月の改選で舞鶴一雄氏（西陣まいづる）を新たな理事長に選出、同年4月1日に就任し、渡邊隆夫氏（渡文）から24年ぶりの交代となった。就任後まもなく一度目の緊急事態宣言が発令されるといって、厳しい船出になった。

舞鶴理事長は就任時に「第一に生産基盤の問題に着手します。職人、道具、機械、技術等々を未来につなぎ、織物の継続ができるよう尽力します」と話したが、今回のコロナ禍において生産数量がこれまでにない落ち込みとなるなか、その問題は日々、深刻化している。

このようななか、西陣織工業組合では持続可能な産地づくりの第2歩として昨年10月にモノづくり事業部（西工機料品部）をスタートさせた。西陣産地では力織機のメンテナンスのできる人材が高齢化し、特に若手の組合員からはこのままでは力織機が壊れば廃業しなければならないというのも現実化しつつあるとの声も上がっていた。今回、組合は事業承継という形を取ったが、全国の和装産地のモデルケースになる。改選時に理事長のみならず組織の役員も若返りも進んでおり、SNSやネットを使いこなす若い人たちの新たな西陣織のPRも前進している。世代交代に伴う新しい力、新しい考えに期待する。

― 昨年以降の西陣織産地の状況を教えてください

舞鶴 「2020年1月から振り返りますと、1月末の武漢からのチャーター便帰国にはじまり4月には緊急事態宣言。前期からの受注残をもつ一部の事業所を除けば4月から6月の産地はかつて経験したことのないほどの受注減に見舞われました。多くの組合員は持続化給付金や無利子融資等で息をつなぎ、雇用調整助成金を利用し、生産調整に入り、回復を待ちました。昨年秋季にはほとんどの先で前売催事が再開し、流通も動き出しました。小売商からは月次で『前年並の売上ができた』、『回復している』との声も聞きました。しかし、西陣産地の受注は秋に入っても前年比の半分、七掛けという組合員が多数でした。西陣織はフォーマルが中心です。コロナ禍で結婚式、御茶会、祝賀会・パーティなどフォーマルシーンが失われるなか、消費者からは『今買っても着ていく場がない』との声が多く聞かれました。

そして、小売・問屋・産地という流通構造のなかで産地がもつとも落ち込みやすいという面もあります。先行き不透明ななか小売商が仕入れを2割減らせば、問屋はそれ以上に仕入れを減らします。各段階で製品仕入れを減らしたことで産地の落ち込みがもつとも大きくなったのです。今年の4月以降も度重なる緊急事態宣言により市場は苦戦し、回復しつつあった産地への仕入れも再び大幅に減っています。まだまだ先行きの見えない状況にあります」。

― 西陣帯はフォーマルが極端に落ち込むなか、カジユアルはまだ動いているとも聞きます

舞鶴 「値頃な商品の動きがいいというよりも、フォーマルが売れない分、カジユアルはまだ売りやすかったというのが現状ですし、決して全体の販売本数が伸びているわけではありません。たとえ同じ本数が売れたとしても高価なフォーマルが落ち込み、値頃なカジユアルが伸びれば、売上は落ちますし、利益を圧迫します。現実的には昨年秋季頃から販売本数は回復基調にあります。しかしながら金額面はまだまだ戻っていない先が多い。またフォーマルをはじめとした値の張る商品ほど、織物に高度な技術が施されており、このような商品が動かないことにより、その関連職人さんに大きな影響が出ています」。

― 西陣織を支える関連職人さんの話が出ましたが、西陣織は高度な技術を有する職人さんたちの分業にその特徴があります。『織元』と呼ばれる西陣織メーカーからの発注が減った関連工業の影響はどうでしょうか？





舞鶴「外注先である出機の織手さんをはじめ綜統、引箔、そして準備材料等の関連工程の職人さんまで仕事が激減しているのが実態です。このような状況が続けば、長年の歴史の中で形成されてきた生産体制が壊れ、今後継続してモノづくりが出来なくなる可能性が出てきます。この流れを食い止めるには需要創出、すなわち織元が新たな帯を生産するしかありませんが、コロナ禍がいつ収まるかわからない、収まっても元の水準に戻らないかもしれないというなか、新しいモノづくりに二の足を踏む先が多いのも現実です」。

「このようななか、西陣織工業組合では持続可能な産地づくりの第一歩として昨年10月にモノづくり事業部（西工機料品部）がスタートしました」。

舞鶴「長きにわたり西陣のモノづくりを支えていた産地大手の機料品店である駒野機料品店がご高齢に伴い廃業されるに当たり、組合が事業承継しました。力織機は昭和年代にメーカー生産、メンテナ

ンスともに終了していますし、その後は機料品店が中古織機の組立設置、部品の取り扱い、メンテナンスを担っています。しかしながら、西陣産地の縮小とともに機料品店の仕事量も激減したことで廃業が続く、近年の稼働先は数えるほどになりました。なかでも駒野機料品はもともと仕事量のまとまる先でした。今回、駒野さんが80歳を超え、社内には後継者もいないことから廃業されると伺い、このままでは「織機の新設、メンテナンスが出来なくなり、継続的な生産に支障が出る」という事態も想定されました。そこで組合内に機料品部をつくり駒野機料品店の事業を承継し、組合で力織機のメンテナンスに関わる技術者を新規採用しました。現在は駒野さんから直接その技術を教授いただいています」。

「アフターコロナについての考えを聞かせてください」

舞鶴「組合内でも元の水準（コロナ前）に戻らないという認識が支配的です。コロナ禍前の10年、いや20年、30年と減少基調が続いていたわけですし、その流れは容易に止まらないでしょう。どこまで戻すことができるかを考えていく上でも従来通りではないかと考えますし、従来通りでは先細りがみえています。たとえば、コロナ禍できもの小売市場も変化しています。先を見据え、従来型の販売方法、集客方法、組織の在り方等々を見直し、大きな変革に動いた先も見受けられます。それに対し、産地が従来通りの仕入れ、従来通りの催事の取り組みを求めても期待できない、応じてもらえないことは見えて

います。よって、産地としては、小売市場の変化に対応することはもちろんのこと、産地自らの変革も行っていかねばなりません」。

西陣ブランドの再興策

舞鶴「来年、西陣は「呼称555年」を迎えます。それに合わせて組合では、「Road to 西陣GOGO」（GOGOGO555）をスローガンとして、西陣ブランドの再構築をはじめ様々な事業やイベントを前向きに取り組み、新たな西陣を展開していく予定です。具体的には帯以外の商材へのチャレンジ、または問屋への卸・前売催事といった従来型の販路からのシフト、あるいは異業種との商品タイアップなど、まだまだやれることはありますし、現実的にこのようなチャレンジを行っている組合員もいます。コロナはいずれ終わります。その後、どんな変化が起きるのか、そこにどう対応していくのか、問われることとなります」。



特集 振袖

NEW
FURISODE
STYLE

問屋・メーカーが発表する
最新振袖
を一挙紹介!!



(株)カトウ



(有)なべしま



ダイリン(株)



西善商事(株)



(株)丸上



京商(株)



京都プロデュース(株)



シャルマン・フルール(株)



(株)アイム今井

織物 特集

FEATURE
ORIMONO

株式会社紫峯

織の財団・有限会社しるべ

株式会社秦流舎

佐竹孝機業店

五十嵐織物株式会社

株式会社スコープ・ココ

2021-2022

JOTARO SAITO

KIMONO STYLE
COLLECTION

LIMITLESS — 限界なきキモノ —

COLLECTION STAFF

【演 出】 伊藤太一・田中成子 (U-Guild)
【ヘア&メイクアップ】 鎌田由美子 (SHISEIDO)
【メンズヘア&メイクアップ】 新城輝昌 (SHISEIDO)

【スタイリスト】 吉村澄子・仲山裕子・鈴木三恵子
羽尻千浩・添田麻莉・小笹朋子
【ブ レ ス】 佐藤恵子・徳永礼子 (PROSPERE)

MODELS

【メ ン ス】 高橋尚見 中嶋タカシ MIKEY MAEKEN
【レ ディ ス】 魚住光生 Karin 黒田瑞貴 源崎トモエ 駒形悠
中田早保 ななみ 結花子 REI 玲奈



www.jotaro.net/





奄美大島、世界自然遺産登録決定
奄美大島紬に光

呉服専門店グループ 日本きものシステム 「産地と共に繁栄を」

本場奄美大島紬協同組合、 創立120周年

国連教育科学文化機関（ユネスコ）の世界遺産委員会が7月26日、オンラインで開かれ、「奄美大島、徳之島、沖縄島北部および西表島」（鹿児島、沖縄両県）の世界自然遺産登録が決まった。島々は本場奄美大島紬や染織品の産地であり、今後、きもの業界でも世界遺産を絡めたPRや企画が活発化するにちがいない。

世界遺産登録に沸く奄美大島では、本場奄美大島紬協同組合が今年、組合創立120周年の節目を迎えた。同組合では10月25日に「創立120周年記念セレモニー」「選品会・求評会」を記念事業として開催する。全国の間屋・小売店に対し「生産地である奄美大島に直接来て頂き、生産現場・職人の人柄・技術等を体験して頂き、普段では見られない『ALL奄美の大島紬』を見て仕入れ対応をして頂きたい」と広報し、大島紬振興の一大機会にしたいと位置づける。

大島紬は、奄美の自然なくしては生まれなかった織物だ。伝統の龍郷柄は奄美の動植物等が図案化されたも



のが多く、泥染めは奄美に自生するテーチ木と奄美の鉄分豊富な泥を用い、世界自然遺産の象徴に成り得る。しかしながら、大島紬は生産数量の落ち込みに歯止めがかかっていない。平成時代、売れ行きが鈍るなか、流通価格の下落から採算性が悪化し、織元の倒産廃業が相次いだ。全盛期の半分以上の水準になった織工賃では食へてはいけず織工も著しく減った。平成時代30年間で生産インフラそのものを大きく失った。コロナ禍の昨年も生産数量を減らし、今年も減産基調が続いている。そんななかでの世界遺産登録決定は大島紬にとって「筋の光となる」。

JKS表敬訪問、「組合を挙げて産地の力になりたい」

8月5日、全国48社の呉服専門店が組織する日本きものシステム協同組合（JKS）は、佐々木英典理事長（福田屋呉服店）をはじめ7名が「組合創立120周年」の表敬訪問をかねて本場奄美大島紬協同組合を訪れた。本場奄美大島紬協同組合からは牧雅彦理事長をはじめ120周年記念事業の担当理事等4名が応じた。

JKSの佐々木英典理事長は今回の組合創立120周年に対する敬意を表すとともに、「これか





らの奄美大島紬の振興のためにもJKSの組合を挙げて産地の力になりたい、具体的には奄美産地とJKSとのオリジナル商品・企画をつくり、各専門店が企画展を行い販売に注力することで産地の売上に貢献したい」と話した。

本場奄美大島紬協同組合の牧雅彦理事長は「昭和47年をピークに大島紬の年間生産数量は減少しておりコロナ禍の今も厳しい状況にあります。決して大島紬の魅力がなくなつたわけではなく、私たちはこの伝統文化・技術を未来につなげるべく奮起しています。次世代のためにもJKSさんと共に取り組みたい」と話した。

そして両組合により、今後、どのような形で協業できるかが話し合わせられ、JKSからは「組合120周年」を絡めたものづくりができれば、お客様にストーリーを説明できる」と提案があり、本場奄美大

島紬協同組合は「組合には120年前の柄があります。当時の柄を復刻し新商品をつくるのはどうでしょうか」と答え、両組合によるオリジナルの大島紬を生産することに決まった。商品は奄美大島紬の代表格「泥染め」「経緯緋」だ。

JKSの西沢朗副理事長（長崎西沢）は「時間がかかってもいいので、組合が運営する大島紬技術専門学院の生徒さんに織ってもらえればとお願ひしました。120年前の柄を未来につなぐ意味でも、未来を担う方々に生産に携わってもらうことに意味があると考えますし、そこにまた織物のストーリーができますよね」と話す。

販売でお返し

今回の訪問では、JKSから問屋を通し、産地組合に32反の発注を行った。今後、JKSでは加盟店での企画販売を本格化させる。佐々木英典理事長（福田屋呉服店）は「発注した商品の魅力をお客様に伝え販売することで、また来年も継続し発注ができるよう最大限努力します。私たちが産地から本物の商品知識を学び、販売でお返しすることで産地の活性を促し、産地と共に繁栄できれば」と話した。

コロナ禍によりかつてない落ち込み幅とな



っている産地の回復には、川中、川下の理解・協力が不可欠だ。このような産地に寄り添った取り組み・計画的発注が産地の下支えになる。

日本きものシステム協同組合（JKS）は、平成6年11月に発足した全国48社からなる呉服専門店グループ。本組合設立時から現在に至るまで、加盟各社で相互研鑽を繰り返しながら多岐にわたる事業活動を展開し、地域密着型経営の推進に全力を傾けてきた。組合創設から26年経った現在、JKSは組合事業を通じ積極的に業界貢献（コミット）しながら、より豊かで、すそ野の広い和装文化を次世代に残せるよう活動している。近年は全国の和装産地での移動例会、懇親会を行うなどし、産地での学びや各組合店における産直セールを通じた産地織物の販売に注力し、業界のサブライチエーン全体での繁栄を目指している。

イマジンワンワールド KIMONO プロジェクト

TOKYO
KIMONO
SHOW
2019

「東京五輪開閉会式、採用ならず」 組織は内紛で分解



— imagine

2021年7月23日、世界が注目した東京五輪開会式でジョン・レノンの名曲「Imagine」が流れた。演出は光り輝く無数のドロロンが東京五輪のエンブレムや地球の形を描くというものだったが、胸に去来したのはあの「KIMONO プロジェクト」のことだった。

世界213カ国の自然文化歴史を描いた「着物」と「帯」を制作するプロジェクト「イマジンワンワールド KIMONO プロジェクト」は2020年東京五輪開会式での披露を二つの目標にしていた。同プロジェクトの掲げたコンセプト「世界はひとつ、つになれる」は「Imagine」の歌詞「And the world will be as one (世界はひとつになれる)」につながる誰かが連想するところだ。

しかしながら、開会式での起用がないことは4月に関係者から発表されていた。その後も開会式に披露というニュースが報じられることはなかった。それでも開会式情報は外部に漏らすことが許されない性質のものであり、国立競技場に「Imagine」が流れたとき、もしや土壇場で採用されたのかも勘繰った。だが、それは夢想だった。やはりイマジンワンワールド KIMONO プロジェクトは止まったままだった。そう、同プロジェクトは東京五輪を前に停止していた。

全国の和装産地も応援

これまで本誌において、幾度となく同プロジェクトを紹介してきた。

今から4年前、17年秋に同プロジェクトの発起人であり当時の代表理事高倉慶応氏に取材した。当時はまだ80カ国前後の制作でゴールの半分にも届いていなかった。足もとではスポンサー集めに難航

していたものの、高倉氏は「2020年までに世界196カ国分のきもの(当時の目標)を製作できると確信しています」と力強く話していたのが印象的だった。その真意を尋ねると「私も当初は半信半疑でしたが、一人また一人と応援してくれる方が増えていきますから」と支援の広がりがあることに自信につながっているとのことだった。全国の和装産地、特に手仕事の技・職人によりきものは制作されており、和装産地からも「創作意欲が湧いた」、目標ができた」との声も聞いていた。

2020年、コロナ禍で東京五輪は延期になったが、同年10月16日〜18日、京都市京セラ美術館で「着物を世界に映す展覧会」が開催された。完成した世界213カ国のKIMONO(振袖・帯)が集結し、KIMONOを通して、世界がつになった。しかし、この後、同プロジェクトは分解した。「世界はひとつ、つになれる」を掲げた組織がつにならなかった。



混乱が表面化

今年1月18日、一般社団法人イマジンワンワールドの公式フェイスブックは同日に開催した理事会で手嶋信道氏に代わり八子由理子氏が代表理事に就任することが決定したと発表した。一方、同社団の公式ホームページでは代表理事が手嶋信道氏のまま、4月15日、同日開催の臨時社員総会で新たな理事、監事を選任し、同時に八子由理子氏をはじめ3人の理事と監事を解任したと発表した。

社団内の混乱が表面化するなか、4月18日、社団の公式フェイスブックに「緊急のお知らせ」とし、創設者高倉慶広氏、そして解任になった同法人社員の連名で「趣意書」が出された。そこで代表理事の地位について係争中であると説明された。

手嶋氏が代表理事に就任後、数々の問題が表面化したため代表理事を解職し、2月27日の社員総会において手嶋氏を理事から解任するとともに社員から除名したという。ところが

手嶋氏は理事会の手続きに異を唱え、仮処分申立を通じ、八子氏が代表理事でないことを「仮に認める」との決定を受け、代表の地位に留まった。そして定款上「代表理事の承認で社員が増やせる」と規定されていることを濫用し、社員を急増させて社員総会を開催し、その数の力で理事を入れ替える決議をしたという。



現在、社団の登記上の代表理事は手嶋氏であるが、冒頭に記した1月18日の理事会の解任決議は取り消されておらず係争中にある。公式ホームページは手嶋氏側が管理しプレス等の「お知らせ」を発信、公式フェイスブックは創設者高倉氏側が管理し情報発信している。そのため、どちらも公式であるが、異なる意見が主張される。

たとえば、東京五輪開会式のイマジンワンワールドKIMONO起用についても、公式ホームページは「高倉氏が代表を務める蝶屋がKIMONOを保管し返還してくれなかったため「開会式にKIMONOを提供できません」と主張（※蝶屋＝呉服専門店、福岡県久留米市）。対して、公式フェイスブックは「開閉会式での起用はない旨、正式に回答をいただいている」「出展の予定がなかったことも明らか」と主張する。

KIMONOに罪はない

同プロジェクトに関わった者たちは、こんな泥仕合を誰もみたくなかった。きもの手仕事の技・心・美を伝えるべく奮起した製作者、きもの力を信じたスポンサー、プロジェクトを応援した一般の支援者やきものファンは今、どれだけ心苦しい思いでいるのか。少なくともあ

の素晴らしい213のKIMONOにまったく罪はない。晴れ舞台で多くの人の目に触れ、きもの素晴らしさを一人でも多くの人に伝える役割を果たしてほしい、あのKIMONOにはその力がある。いまはただ、プロジェクトのテーマ「世界はきつと、二つになれる」が空虚に響く。

8月2日、蝶屋の公式ホームページで経過がリリースされた。「(手嶋氏が代表を名乗る)一般社団法人イマジンワンワールドとの『KIMONOプロジェクト』の着物の取り扱いをめぐる係争におきまして、裁判所の判断ができましたのでお知らせさせていただきます。

TOYO2020開幕前に、一般社団法人イマジンワンワールドから弊社に対し、動産(着物)引渡仮処分命令にかかる申立がなされましたが、同申立では令和3年7月30日付けで却下されています。

また、手嶋氏側が本申立の根拠とした「TOYO2020開会式に『KIMONOプロジェクト』の着物をお披露する予定がある」という主張に関し、手嶋氏側から具体的な証拠は提出されておらず、裁判所も手嶋氏側の主張する事実は認められないという判断をくだしました。

弊社は裁判所の判断を受け止め今後とも対応して参ります。」

なお、8月20日現在、手嶋氏側(公式ホームページ)から同件に対するリリースは出ていない。



再現 女性の服装 1500年



京都の染織技術の粋

（公社）京都染織文化協会（京都市下京区四条通室町東入・京都経済センター6階、吉田忠嗣理事長）と文化学園服飾博物館（東京都渋谷区代々木3-22-7）は、日本女性の衣服の移り変わりを巡る「再現 女性の服装 1500年～京都の染織技術の粋～」を、7月15日（木）～9月28日（火）の期間、文化学園服飾博物館で開催する（後援：京鹿の子校振興協組、京都刺繍協組）。



京都染織文化協会は、創立80周年を記念し、昭和初期に作られた復元時代衣裳を用いた着装展示によって日本女性の服装の変遷をたどる。

平安遷都以降、貴族や武家、そして裕福な町人の華やかで贅沢な衣生活を支えたのが、都の工人たちであり、応仁の乱で京都の町が一時灰燼（かいじん）に帰すことがあっても、工人たちは苦難を乗り越え、新たな染織技術を次々に生み出して現代に至っている。展覧会では、当時の京都の染織技術を結集して復元された、古墳時代から明治時代初期に至る女性の衣服を展示して日本の女性の服装の1500年をたどるとともに、文化学園服飾博物館が所蔵する江戸時代後期から昭和時代初期の優品を通して京都の染織技術の真髄を感じてもらう。

展示内容は、3つの特徴があり、①2階展示室では古墳時代から明治時代までの女性の服装をマネキン着装で展示。日本女性の衣服の変遷をたどる（昭和初期に復元された復元衣裳は当時の技術を再現した貴重なもの）。②1階展示室では文化学園服飾博物館所蔵の江戸時代から昭和時代初期までの貴重な資料（衣桁掛け展示）により京都の染織技術の粋を見ることが出来る。③会期中、京都の染織職人による実演とワークショップ、講演会を実施する。

○講演会…7月31日（土）午後1時～5時
Zoomによるオンラインセミナーで、龍谷大学非常勤講師の北野裕子氏による「京都染織祭の歴史―なぜ女性時代風俗衣裳は制作されたのか」。共立女子大学教授の長崎巖氏による「身分表現としての、服装と染織技術の選択―近世以前の日本の服飾文化―」がそれぞれ行われる。

○実演・ワークショップ…7月16日、17日、24日、31日、8月21日、28日、9月11日、17日
職人による伝統染織技法の実演（刺繍（実演のみ）、色挿し（辻が花）、傘紋、疋田絞、金彩）が行われる。

《開館時間》午前10時～午後4時半（7月16日、9月17日は午後7時まで）休館日…日曜日・祝日・夏季（8月7日～17日）。

《入館料》一般500円、大高生300円、小中生200円、

◆問合せ…（公社）京都染織文化協会

TEL…075-353-1010

文化学園服飾博物館 03-3299-2387



忘れられた祭り 京都染織祭 恐慌・戦争・復興を駆ける (思文閣出版刊)

龍谷大学非常勤講師北野裕子氏著

〔「プロローグ」「本題に入る前に」を抜粋〕

〈プロローグ―染織祭との出会い〉

染織祭という祭りをご存じだろうか。(中略) 古墳時代から八つの時代を重ね江戸時代末期まで、日本女性の衣服の展開が目に見える形でわかる。まさに衣装で綴る時代絵巻である。今から、10年以上前、当時、京都府北部の自治体史を執筆するため丹後ちりめん(縮緬)の歴史を調べていたところ、昭和恐慌期、丹後ちりめんは黄金時代を迎えていた。高級呉服(絹の着物)の生地になるちりめんの売れ行きが何と好調なのである。(中略) 丹後ちりめんの売り先は京都室町問屋、産地の景気がいいなら売り先はどうなのか考えていたところ、京都府立総合資料館(現京都府立京都学・歴史館)で出会った本から、昭和恐慌期の京都で「染織祭」という絢爛豪華な祭りがあったことを知る。現在では齋王代が目される葵祭や衣装で歴史をさかのぼる時代祭にも戦前は女性の行列はなかったが、染織祭の行列は女性や大衆が主役だったことにも驚いた。ただ、当時は資料館でも、ほとんど情報がなかった。

(中略) 平成20年(2008年)、何の伝手もないまま思い切つて、衣装を保管する社団法人京都染織文化協会(以下「協会」)を直接訪ねた。(中略) 協会が公益法人への移行期でもあり、一緒に歴史の調査を始めることになった。当時、京都産業会館(現京都経済センター)5階にあった倉庫に入り、祭りの主体とされる染織講社の関係文書55点などを見つけ、今では当時の映像や撮影写真等も一般の方々から提供いただいている。

平成23年、協会は公益社団法人となり、筆者も協力し、史料調査・講演・広報活動等を受け、毎年、美術館や博物館等からの展示依頼を受け、衣装を貸し出す機会も増えている。少しずつだが、染織祭の存在を知っていたかどうかようになってきているのではないだろうか。

〈本題に入る前に〉

染織祭は、1931年(昭和6年)、昭和恐慌真っただ中に京都染呉服商(問屋)が発起し、京都染織業界を中心に京都府・京都市・京都商工会議所等に広げた「染織講社」を組織し、20年余、春の京都で挙行された。最初は祭祀・式典と業者中心の行列だったが、1933年(同8年)から女性時代風俗行列が加わった。前者は岡崎グランドに仮設した社殿で染織祖神を祀り、後者は八つの時代衣装を京都の八花街の芸妓が着装して市中を練り歩いた。

男性装束のみの時代祭と対比され、祇園祭にも匹敵する観衆を集め、染織業界だけでなく、多くの業界がこれに便乗し、当時「京都四大祭の一つ」と謳われた。京都の高度な学識・技術、財力を駆使した行列は、その豪華さゆえ、日中戦争が始まると自粛され、1933~1937年(同12年)の5年間で終わったが、祭祀・式典はその後も継続され、戦後復興期には再び時代祭に協力する形で時代衣装が登場した。

恐慌・戦争・復興という激動の時代を駆け抜けた染織祭は短命だったため、その後、京都の歴史に埋没してこれに関する記述史料などがほとんど残されず、市民からも忘れられることとなった。しかし、主体となった染織講社が1951年(同26年)に解散した後も時代衣装は大切に保管管理され、これまで一度だけ、宮崎友禅翁の生誕330年にあたる1984年(同59年)、「染織まつり」として行列が復活した。このイベントは宮

崎友禅生誕330年記念奉賛会が統括し、京都府・京都市・京都商工会議所、京都新聞社等が共催した。

染織祭が創設された1931年は、日本経済史においては1929年(同4年)の世界大恐慌の発生を受け、日本へも恐慌が及び、解雇・倒産・失業が急増し、果ては人身売買が話題にのぼるなど、経済が

最も悪化した時期であった。しかし、その一方で、近年の研究では、当時は経済不況が叫ばれたにもかかわらず、大衆消費社会の萌芽がみられたという。不況になぜ、大衆の消費が進んだのか。

手がかりとして、祭りを創設した京都染織業界、その中核となった京都染呉服商(問屋)を調べ、さらに祭りを支援した京都市の動向を追っていく。そして創設された祭りの実態を紹介し、これまでほとんど分からなかった戦時期、戦後復興期の展開を可能な限り加え、曲りなりにも全体像を描き、恐慌・戦争・復興を駆け抜けた染織祭の意義を考える。

(公社)京都染織文化協会監修 北野裕子著「忘れられた祭り 京都染織祭 恐慌・戦争・復興を駆ける (思文閣出版)」から許可を得て引用抜粋しています。

◆本書に関する問合せ…(公社)京都染織文化協会
TEL..075・353・1010



再現 女性の服装 1500 年

展示品抜粋

京都染織文化協会の所蔵品から

※平安時代、五衣唐衣裳装束のみ
文化学園服飾博物館所蔵品

古墳時代



きぬ も すがた
衣・裳 姿

飛鳥・奈良時代



きぬ からぎぬ も すがた
衣・背子・裙姿

平安時代



いつつぎぬからぎぬ も しょうぞく
五衣唐衣裳装束※

鎌倉時代



あさぎひら ぎぬ じか の こ も ようこそで
浅葱平絹地鹿子模様小袖
しろひらぎぬ じか た わぐるまも ようはかま
白平絹地片輪車模様袴

鎌倉時代



むらさきじむかいちようひしつなぎもようあやうちき
紫地向蝶菱繁模様綾袴

室町時代



そめわけひら ぎぬ じいしたみやなぎそうか も ようこそで
染分平絹地石畳柳草花模様小袖

安土桃山時代



しろひら ぎぬ じはなびしきつこうつなぎも ようかたすこ こそで
白平絹地花菱亀甲繫模様肩裾小袖

江戸時代初期

「武家女性の小袖
慶長小袖」



くろ ひら ぎぬ じりゆうすいおうぎまる も ようこそで
黒平絹地流水扇丸模様小袖



江戸時代中期

中流町人女性の小袖
「友禅模様」

そめわけちりめんじななめしまはなまるもようふりそで
染分縮緬地斜縞花丸模様振袖



江戸時代初期

中流町人女性の小袖
「寛文小袖」

べにちりめんじつちぐるまたつなみもようふりそで
紅縮緬地槌車立浪模様振袖



江戸時代初期

武家女性の小袖
「慶長小袖」

そめわけりんずじくさきもようこそで
染分綸子地草木模様小袖



江戸時代中期

武家女性の小袖

もえぎちりめんじりゆうすいぼたんおうぎししもようふりそで
萌黄縮緬地流水牡丹扇獅子模様振袖



江戸時代中期

中流町人女性の小袖
「腰模様」

うすきちりめんじりゆうすいおしどりあしみずあおいわかまつもようこそで
薄黄縮緬地流水鴛鴦芦水葵若松模様小袖



江戸時代中期

中流町人女性の小袖
「友禅染」

そめわけちりめんじたてしまおながどりもようふりそで
染分縮緬地縦縞尾長鳥模様振袖



江戸時代後期

公家女性の小袖

もえぎひらきぬじざかりおえだもよううちかけ
萌黄平絹地桜折枝模様打掛



江戸時代後期

富裕町人女性の小袖

ねずみちりめんじしだれやなぎざっしもようふりそで
鼠縮緬地枝垂柳冊子模様振袖



江戸時代後期

中流町人女性の小袖

ちゃちりめんじくすだまもようこそで
茶縮緬地薬玉模様小袖

京都の染織技術 ここにあり

文化学園服飾博物館の
所蔵品から

唐織

—江戸時代
井伊家伝来—
19世紀前半



べに じりゆうすいきくおりえだ もよう からおり
紅地流水菊折枝模様唐織

刺繍

—江戸時代
19世紀前半—



しろあさ じしうちくばいつる もようかたびら
白麻地松竹梅鶴模様帷子

摺箔・金砂子

—江戸時代〜明治時代
三井家伝来—
19世紀



しろりんず じ み すくさばなちようかすみもよううちかけ
白綸子地御簾草花蝶霞模様打掛

摺箔・金砂子

—江戸時代〜明治時代
三井家伝来—
19世紀



はなだあやしばいじゅはる の ななくさ もよううちかけ
縹綾地梅樹春の七草模様打掛

友禅染

—江戸時代
18世紀中頃—



しろあさ じ たきしだれざくらもようかたびら
白麻地滝枝垂桜模様帷子

京都プロデュース株式会社

株式会社メディアクリエート



「家族成人式®」に関する振袖前撮事業全般で業務提携



二十歳を迎える新成人女性を対象に、家族単位で祝福するセレモニー「家族成人式®」や、きものの着姿画像を低価格で提供提案するツールなど、呉服業界に役立つサービスを企画運営する京都プロデュース(株)(京都市下京区、井口久勝社長)は、このほど写真スタジオの運営や立ち上げサポート、カメラマン育成などトータルプロデュースを手がける(株)メディアクリエート(愛知県豊明市、原伸一社長兼会長)との間で、京都プロデュースが手がける「家族成人式®」事業に関して業務提携契約を締結した。

呉服業界に営業基盤を持つ京都プロデュースと、写真業界に営業基盤を持つメディアクリエートが、「家族成人式®」を、新しい成人式のカタチ、新しいビジネスモデルとして普及拡大させる目的で両社の思いが合致、「写真業界に実績があるメディアクリエートと業務提携することで『家族成人式®』の写真業界への普及拡大に期待できる(井口社長)」と話す一方、「弊社では長年、呉服業界で写真館やスタジオの立ち上げをお手伝いさせていただいておりますが、京都プロデュース様が手がける『家族成人式®』は、これからの成人式の新しいカタチとしてお客様に提案できるビジネスモデルであり、大きく成長する可能性があると思い、パートナー(業務提携)を組ませていただくこととしました(原光輝部長)」と話す。両社は今後「家族成人式®」をブランディング化して、写真事業の付加価値を高めていきたいとしている。

京都プロデュース㈱の 主な取り組み

井口久勝 社長

長年呉服業界に携わらせていただいておりますが、あらゆる面でアナログからデジタルにテクノロジーが進化するなかで、呉服業界も変化に対応した経営が求められていると思います。例えば、ある小売店様ではベテラン販売員が顧客に対し、売り手主導の販売方法が一部で行われています。しかし、一般の人たちが多くの情報を得られる情報化社会の現在、顧客の「こんな色柄のきものが着たい、欲しい、個性を表現したい」といった声にもっと耳を傾けるべきです。つまり、きものが売れていたアナログ時代の営業（売り手主導）から、消費者一人ひとりが求めるデジタル時代に対応した営業（買い手主導）にシフトすることが何よりも重要です。

テクノロジーが進化するなかで、 呉服業界も変化に対応した経営が 求められていると思います。

京都プロデュースでは、タブレットを使った「ふりそで@コーデ（振袖バーチャル試着）」のサービスを呉服小売店様向けの営業ツールとして提案しています。お客様が「こんな振袖を着たい、こんな振袖が欲しい」と言った声を最大限お応えするためのツールです。小売店様にある振袖や帯等（在庫商品）を写真に保存しておき、タブレットを使用して予めご本人を写真撮影（全身）した画像に振袖と帯、小物を全身コーディネートした着姿を画面上に映し出すもの



㈱メディアクリエートの 主な取り組み

原光輝 部長

独自のノウハウを構築し、全国の呉服専門店や美容院へのトータルプロデュースを基本に、設備から写真撮影に関する技術、衣装、接客、ロープレ（※）まで写真スタジオ運営に関するトータルサポート事業を展開しています。また、振袖撮影を専門とする出張撮影は、撮影から出来上がる写真に対するお客様満足度は非常に高く、多くの呉服専門店から支持をいただいています。

弊社では、写真業界で長年培ってきた独自の営業に関するノウハウを構築し、常に時代の変化に伴いブラッシュアップしております。そして、そのノウハウを使って従前から呉服業界、特に呉服小売店様向けに写真スタジオの立ち上げをお手伝いするサポート事業を展開しています。スタジオ開設から機材の導入と操作、そしてカメラマン育成まで写真事業に関する知識や経験が乏しい呉服小売店様でも安心していただけるサポートを行っております。

で、簡単に素早く見ていただけるのが特長です。ファミリーストラン、回転寿司、居酒屋などの飲食業界でもお客様が自由に好きなものを選べる時代。振袖選びから購入、レンタル、ママ振り、前撮り撮影まで、すべて顧客（買い手）主導です。お客様の求めるモノ（振袖等物品）とコト（家族の思い出）の両面で喜んでいただき、満足していただけるサービスを提供し、きもの業界に貢献していきたいと考えています。そして、お客様が選ばれた振袖を、ご両親、祖父母、兄弟、ご家族全員でお祝いする前撮り撮影のシーンで感動し、喜んでいただくコトサービスを提供する「家族成人式®」を提案しています。今回、写真業界の優良企業である㈱メディアクリエートさんとパートナー（業務提携）を組ませていただきました。写真業界にも「家族成人式®」が広がっていくことを期待しています。

今後は両社の強みを補完し合うことで一層強固な企業体にしていきたいと考えています。



このコロナ禍で事業が縮小する企業がある一方、成長する企業もあります。コロナはマイナス要素と考える企業様が多いですが、反面、写真の価値は高まっています。例えば、ブライダルでは、挙式はしないけれど写真は残す、というお客様が増え、写真の売上は好調です。つまり、写真ビジネスに対象を絞った企業様が成長しております。勿論、この中には振袖も含まれます。振袖撮影は多種多様な時代へと変わってきています。核家族化、18歳成人、さらにコロナ禍による式典の自粛(中止や延期等)など、成人式を取り巻く環境が大きく変わり、新しい価値、新しい

◎ 会社概要

京都プロデュース(株)

【本社】〒600-8172

京都市下京区烏丸通五条下る下平野町 480・1 階

TEL 075-344-4515 FAX 075-320-2974

URL : <https://kyoto-pro.com> Email : info@kyoto-pro.com

※家族成人式のランディングページ : <https://furisode.co.jp>

- 代表者 : 井口久勝氏
- 事業内容 : 呉服店・写真スタジオを対象にした「家族成人式®」の提案振袖・きもの等のきもの着姿画像提供サービス事業。

(株)メディアクリエート

【本社】〒470-1127

愛知県豊明市三崎町ゆたか台 28 - 8

TEL 0562-92-9970 FAX0562-57-9939

URL : <http://www.media-create.co.jp>

Email mitsuteru@media-create.co.jp

- 代表者 : 原 伸一氏
- 事業内容 : 写真撮影に関するサービス全般の商品開発・デザイン・情報・企画・教育などトータルプロデュース事業。

★「家族成人式®」については、上記連絡先まで
お気軽にお問い合わせください。

成人式の形が求められる中、京都プロデュース(株)さんと業務提携をさせていただいた「家族成人式®」は、成人式の新しい形を提案する新しいビジネスモデルであり、非常に具体的でかつわかりやすいサービスです。

京都プロデュース(株)さんが提供する振袖前撮撮影サービス「家族成人式®」は、成人を迎えられるお嬢さんをご家族単位で祝福する記念であるとともに、三密回避、年間通して自由で好きな季節(時期)、ロケーション(場所)をお客様ご自身で選んでいただける顧客目線に立ったビジネスモデルだと思えます。そして、弊社が一番に大事にし

ているお客様の思い出を素敵に演出すること。「家族成人式®」は、誰にでも目に見える形で演出し、感動するサービスへと仕上がっております。これからのビジネスに有効なモデルであり、大きな(成長の)可能性を秘めています。弊社のお客様に「家族成人式®」はお勧めできるサービスであり、振袖という文化に今後も貢献していくためにも、京都プロデュースさんと協力関係を築いていきたいと考えています。

※ロープレ(ロールプレイング)は、role(役割)とplaying(演じる)の略称、営業・接客の現場で営業マン・販売員役と客役を決め、アプローチやクロージングなどの商談を練習すること。

コミュニケーション・プラザ Communicate Plaza

和装関連団体のイベントニュース

TOPICS

1

株式会社
いと由 染め染め倶楽部
おうちde すり友禅キット「あさがお」販売



おうちde すり友禅キット「あさがお」

染呉服製造卸、(株)いと由(京都市中京区高倉通二条下る瓦町549、國兼忠臣社長)は、一般消費者を対象にした摺り友禅ワークショップサロン「染め染め倶楽部」を昨年11月、本社1階にオープン、以降定期的に開催しているが(完全予約制)、このほど自宅で手軽に摺り友禅が楽しめる「おうちde すり友禅キット『あさがお』」の販売を開始した。キットの内容は、型紙1枚、刷毛(太・細)各1本、染料(赤青黄)各1本、ディスプレイザブルパレット3枚、染め素材(ナチュラルリネン小風呂敷数など)1点、新聞紙、染め方の手順書となり、開封してすぐに始められる。なお、型紙は、型友禅の職人に制作を依頼(手彫り)するため、注文を受けて

から10日間ほど日数を要する。

同社では「染め素材は、小風呂敷のほかトートバックなど6種類からお選びいただけます。コロナ禍から「自宅で過」されるご家族が多いなか、イエナカで気軽に楽しんでいただけるよう考えました。手順はインスタグラムなどSNSの動画でも配信しています」と話している。価格は4400円(税込)。

■問合せ:(株)いと由(國兼弓華)

TEL 075-221-5386

E-mail: somesome.club@gmail.com

TOPICS

2

株式会社 カトウ
正絹きものの新作を発表
相田翔子さん着装モデルと
新作振袖60柄

染呉服製造、(株)カトウ(京都市下京区室町通松原上ル高辻町586、加藤健二社長)は、歌手で女優の相田翔子さんを着装モデルにした正絹きもの、羽織、帯の第2弾と新作振袖60柄を発表した。昨年夏にスタートした相田さんを着装モデルにした正絹きものは、「相田翔子さんが着る日本きもの紀行」と趣を変え、4つのラインナップ(12商品)を展開。その1は「大島紬+プラチナ糸+ダイヤモンド加工」、伝統の大島紬に希少性の高いプラチナ糸を織り込みダイヤモンド箔の加飾を施した。シックな大島紬にキラリと光る上品な光沢は特長。2つ目は「大島紬+藍染、オールシーズン大島紬琉球藍」、大島紬に藍染めを施したカラーバリエーションの美しいきもの。大島紬の泥染めと藍染め、



相田翔子さん

希少な日本の2大伝統染めが調和した作品。今回大島紬に程よい透け感を施し、オールシーズン着てもらえる生地仕上げた。3つ目は「ベトナム刺繍」、中世ヨーロッパで「糸の宝石」と呼ばれ、王族、貴族に愛されてきたレースを刺繍部分に用い、白色だけの配色で1針1針の技法の変化による文様表現にこだわった逸品。縫いとしてはシンプルな彩りでアジアテイストなデザインのため、洗練された着姿を演出する1枚になっている。4つ目は「ムガ金彩訪問着」、インド・アッサム地方に生息するヤマユガの野蚕から手作業で紡がれた生糸の中から、細くて金色に輝くゴールデンシルクを選び、織り上げた生地を使用。これに金摺りという金の粒子を刷毛につけて生地を刷り込み、風情のある金彩加工が実現され綺麗な作品となっている。

きもの12商品にコーディネートする帯12本を今回のラインアップとして発表した。同時に振袖のハウスブランド「Vcinquerサンクx葵衣」の新作60柄を発表した。今回ライセンスブランドは使用せず、ハウスブランド「葵衣」を前面に出すことで商品のオリジナリティを高め、ほかのメー

カーとの差別化を図る。振袖市場の縮小が進む中、さらに新型コロナウイルス感染症拡大で同業他社が生産を減らしている中、新作60柄を発表した。目を引くのが前回初めて発表したレース生地を使った振袖の第2弾。発売から多くの小売店から注目を浴びて注文の数が伸びている。ベーシックな振袖は古典柄をベースに大柄をポイントとして配置したものが人気を得ている。モダン柄も数点手掛け、個性のある着こなしを演出できる商材となっている。同社では「業界が新型コロナウイルスで大きく縮小している状況の中、今回は相田翔子さん着装のきもの12点と帯12点に加え新作振袖60柄を発表しました。売れる商品を探しておられる多くの得意先に来店していただき、好調な売れ行きとなっております（加藤社長）」は話す。



新作 60 柄の振袖



最優秀賞「龍双の滝」

呉服卸、京都和装(株)（京都市下京区大宮通高辻上ル、塚本喜左衛門社長）は、7月28日、金沢市のKKRホテル金沢3Fで、「第39回加賀友禅選抜女流作家新作競技会」を開催した。競技会は、加賀友禅の染色作家の発掘と育成を目的に毎年開催。加賀友禅を主力に手掛けるメーカー、問屋から女性作家の作品を出展する新作競技会として行われ、協同組合加賀染振興協会が後援、40年近い実績を有する。毎年意欲的な作品が多数出品され、正絹素材に伝統技法を駆使した精緻にしてハイセンス、未発表の作品を対象に、今回は、「重見天日（ちようけんてんじつ）※」をテーマに丸与商事5点、小川(株)4点、(株)カネヒサコーポレーション4点の計13点（昨年15点）の出品があり、厳正に審査をした結果、中正享子氏の訪問着「龍双の滝」が最優秀賞に選ばれたほか、以

TOPICS
3

京都和装 株式会社

第39回加賀友禅選抜

女流作家新作競技会

7月28日、KKRホテル金沢で開催

●入賞作品（第39回加賀友禅選抜女流作家新作競技会）

賞名	入賞者	作品名
最優秀賞	中正享子	訪問着「龍双の滝」
優秀賞	松島由美	同「清冽」
〃	一川忍	同「榮華」
特別賞	瀬端由美子	同「なみあい」
〃	藤田美紀	同「明日は咲こう」
シンフォニー部門	矢花博呂美	同「天真爛漫」

※暗い状況から抜け出すこと。悪い状況から脱却し、良い方向に向かうこと。

下の入賞作品が決定した。また、一昨年から創設された洒落物（セミフォーマル・カジュアル）を対象にした「シンフォニー部門」は、同競技会に過去3年の間に入賞した作家を対象に6点（丸与商事(株)2点、小川(株)2点、(株)カネヒサコーポレーション2点）の出品があった（入賞者は以下の通り）。
●審査講評（中町博志審査委員長）
コロナ禍の中、作品を考える時間、創作にかかる時間が十分にあっただと思います。今回の出展作品を拝見して、各作家（作者）それぞれの顔が思い浮かぶ力作が多かったと思います。

TOPICS

4

ダイリン 株式会社

第1回ものづくり提案会 6月2・3日、丸池藤井ビルで開催

白生地・染呉服製造卸のダイリン(株)(京都市下京区諏訪町通五条上る、三宅生太郎社長)は、6月2・3日の2日間、丸池藤井ビル3階(中京区室町通蛸薬師下ル)で「第1回ものづくり提案会」を開いた。

展示会は、同社染呉服部の新作を中心展示する商談会で、店外の売り出しは例年10月初旬に行っていたが、昨年はコロナの影響でことし4月に延期して開催(大創作展)。また、今期(2021/9期)は創業70周年の節目に当たり、「これから積極的に外(店外)に出て、『ダイリン』という会社を広く知っていただく」という主旨のもと、今回は染呉服(振袖、訪問着、小紋、染帯ほか)に加え、素材(白生地)、仕立・メンテナンス加工(京



ダイリン(株) 第1回ものづくり提案会

都いつ和)、販促ツール(きもの着姿タブレットなど)など全ての営業品目を展示。会の名称を「ものづくり提案会」とし、今後も定期的に開催していく。同社では、「弊社白生地卸と振袖メーカーというイメージが強いですが、訪問着や小紋などの染呉服のほか、縫製(仕立)、販促ツールの提案など、きものに関するニーズにきめ細かく対応しています。コロナ禍が続く厳しい商環境のもと、得意先と密に密になる「情報を発信していきます」と話す。



TOPICS

5

株式会社パールトーン 福知山WORKSHOP

8月3日から稼働開始、
大型商品等の加工に対応

撥水加工及びその他加工の(株)パールトーン(京都市右京区西院春栄町2-1、由本敏次社長)は、京都府福知山市の長田野工業団地アネックス三和にかねてより建設中だった「福知山WORKSHOP」がこのほど竣工し、8月3日(火)から本格的に操業を開始する。

これまで、本社(三条工場)での施行が困難だった大型製品(カーペット等)に当社の撥水加工「パールトーンR加工」を施すことを目的に建設を進め



(株)パールトーン福知山WORK SHOP

ていたもので、今後は様々な分野でパールトーンR加工の対応が可能となる。

当社では、これまで工場のキヤパシティが課題で、十分な対応ができなかったジャンル(業務用カーペット、ホームユ-

ス・インテリア、B to B製品ロット、大型仏具・神具・祭具)にも満足いただけよう、挑戦する体制がこのほど整いました。長年、高級呉服で育み、培ってきた撥水加工技術「パールトーンR加工」の更なる可能性と未来を追求していきます。コロナ禍が続くなか、巣こもり、イエナ力で過ごされる方が増えています。ソファアをはじめ各種インテリア製品など身近なものに『パールトーンR加工』を普及浸透させ、安心して快適な生活をおくっていただき、お役に立てる取り組みに努めていきます」と話している。概要は以下の通り。

■問合せ：株式会社パールトーン

福知山WORKSHOP

E-mail: info@pearlton.com

T 620-14445 京都府福知山市三和町みわ小字

Eコートピア16-4 アネックス京都三和D-3

営業日：毎週火曜日、金曜日(休日の場合、翌営業日)

営業時間：10時～16時

操業開始日：2021年(令和3年)8月3日(火)

日 程	主 な 内 容
10月5日(火)	<p>営業強化 NO.1 「販促強化セミナー」 営業は集客なくして始まらない</p> <p>①徹底した集客研究（人は何に興味を持ち集まるか？で対処） ②各社自慢のDM・セールストーク検討・発表会 DMに合わせたセールストークの作り方・切り返しトークQ&A ③これさえやれば売れる「接客4つのノウハウ」 ④参加者同士の情報交換会（会費制）</p>
11月9日(火)	<p>営業強化 NO.2 「恒例 3,000万円突破者セミナー」 自己名簿の充実</p> <p>①新規客を獲得して、年間個人売上3,000万突破大作戦 （お客様の信頼を得る「私の履歴書・お礼状」の活用方法） ②売上達成のためのOK数・来場数・買上点数等を数字で知り、改善の対策を取る</p>
12月7日(火)	<p>今年の締め括り「業績アップ総括セミナー」 社長と幹部の情報交換会 他社と語り自社の良さを発見</p> <p>①今年の出来事確認・来年への対応【講師とマスコミ各社】 ②各社の今年の出来事と対応討論と発表会 ③参加者同士の情報交換会（会費制）</p>

上記セミナーは顧問契約企業以外の方も参加可能（事前申込/有料）。

TOPICS
6

株式会社モア・ビジョン
セミナー記録本出版

参加者らによる成功と失敗の体験談など

呉服・和装業界を中心に経営コンサルタント業務を手がける株式会社モア・ビジョン（京都市下京区松原中之町488-1、デ・リード富小路204、須田忠三郎社長）は、顧問先（会員）企業を対象にした勉強会「京都トップセミナー」を毎月第2火曜日、ウイングス京都2階会議室（京都市中京区東洞院通六角下る）で開催しているが、このほどセミナー参加企業が発表した成功と失敗の体験談をまとめた出版物「京都トップセミナー戦士達の苦難と成功」を発刊した（自費出版、有料）。

須田社長自身、たけうちグループ（京都、呉服小売）の子会社で社長を務め、グループで毎月



セミナーの様子

40社の企業が出席。「京都トップセミナー」の年内のスケジュールは次の通り。

■問合せ…株式会社モア・ビジョン
 TEL・075-35318560
 携帯・090-303511445（須田）

増収の好調な業績を経験した一方、突然の倒産劇（平成18年8月）に見舞われた体験を持ち、成功と失敗を知る者として、現在「商の法律をベースに顧客と信頼関係を築く」を基本理念に据えたコンサルティング業務を行い、セミナーには毎回30〜

TOPICS
7

日本橋丸上

振袖サイトリニューアル
ブランド別のサイトを統合、
デザイン刷新



MARUJO FURISODE COLLECTION

呉服卸、株式会社丸上（日本橋 丸上、東京都中央区日本橋久松町4-14、上達功社長）は、振袖サイト「丸上振袖コレクション」をこのほどリニューアルした。

丸上が取り扱う振袖は、「SAKURA さくら」、「EIMO エルモ」、「Tokyo Retro/東京レトロ」のブランドでそれぞれ展開しており、オリジナルトータルカタログ「リトルメリー」、「はなまい」をはじめ、時代の流れに沿ったカタログをラインナップしているほか、ギャル系・モダン系のカタログ「eeder（エーデル）」や、キャラクター物から高級手描きまで豊富な品揃えで得意先の幅広いニーズに対応している。

従来はブランド別に振袖のサイトを立ち上げていたが、今回、振袖サイトを一気に統合して全面リニューアルするとともに、商品写真やラインナップを見やすく、探しやすいデザインに刷新、スマホやタブレット端末からも閲覧ができる特徴となっている。URL：https://marujo.jp/furisode/



い	五十嵐織物(株)……………54	(株)アライ……………77	(株)アトリエドール……………97	(株)アトリエ津室……………22	安達徳(株)……………77	浅見(株)……………77	朝日美術印刷(株)……………46	青野工房……………23	あ	(株)アイム今井……………43									
か	(株)カトウ……………34・35	織の財団・(有)しるべ……………50・51	(株)おび工房……………77	小川(株)……………77	岡秀(株)……………77	お	近江屋(株)……………76	ウライ(株)……………表2	(株)うめと……………76	植村(株)……………77	う	(株)ウイングスインターナショナル……………74	伊吹(株)……………77	(株)いと由……………77	(株)一彰……………77	(株)一奎……………表3			
け	啓明商事(株)……………82	く	栗田捺染……………78	京都和装(株)……………78	(株)京都レックス……………76	京都プロデュース(株)……………7	京都ナイスウエア(株)……………5	京都小泉(株)……………4	京都協和(株)……………78	京商(株)……………40	木村実業(株)……………82	木村卯兵衛(株)……………74	木野織物(株)……………19・20・21	き	キステック(株)……………74	(株)川口絹織……………78			
	(株)染と織琉藍……………78	そ	(株)ソーホー……………18	す	(株)スコープ・ココ……………55	(株)秦流舎……………52	(株)しょうざん……………78	シャルマン・フルール(株)……………44	(株)紫峯……………48・49	し	篠田商事(株)……………78	(株)三才……………78	三京(株)……………78	さ	佐竹孝機業店……………53	コスミック(株)……………78	光映工芸(株)……………3	こ	江一(株)……………76

一般社団法人
日本染織作家協会

第44回 日本染織作家展

主催：一般社団法人日本染織作家協会
理事長 田畑喜八（禎彦）
京都市中京区西洞院通四条上ル京染会館 5階



衆議院議長賞 訪問着 長寿の里
小倉貞右 東京

日本染織作家協会は昭和38年、京都から四代目田畑喜八・前原利男・上村一竿・岩本嘉一郎・元橋音治郎、東京から山川悦治・奈良東明子・塚田紫苑たちが発起人となり、染織に新しい感覚を導入し、染織の伝統の上に立って染織美を具体化するという意図から国内唯一の染織作家のみによる団体「日本染織作家連盟・珠工会」を創設。53年4月社団法人日本染織作家協会に改組、伝統的基盤に立って現代に即応する染織工芸の技術研鑽と芸術性の高揚を図り、併せて染織工芸作家の指導育成を行ってきた。

本展は大阪、京都、名古屋、東京の4大都市を巡回する展覧会だが、新型コロナウイルス感染症拡大による緊急事態宣言で京都市美術館が閉鎖になり、全国3か所の開催となった。

今回の出品は衆議院議長賞をはじめ13点の入賞作品。審査委員・監査委員・無鑑査の作品7点、他正会員、準会員、会友、公募、学生を加えた合計54点が出展され、名古屋市博物館で撮影した全作品を誌面に紹介する。

日本染織作家協会関西支部展

会期 令和3年10月29日(金)～31日(日)
会場 京都市伝統産業ミュージアム(左京区岡崎)
入場 無料

開催
決定

撮影：富島達博

●入賞作品

京都府知事賞



訪問着 サヴァナの輝
新田英行 山形

文部科学大臣賞



訪問着 夏は来ぬ
大野比呂志 愛知

田畑喜八賞



訪問着 龍水
高橋敬造 東京

京都市長賞



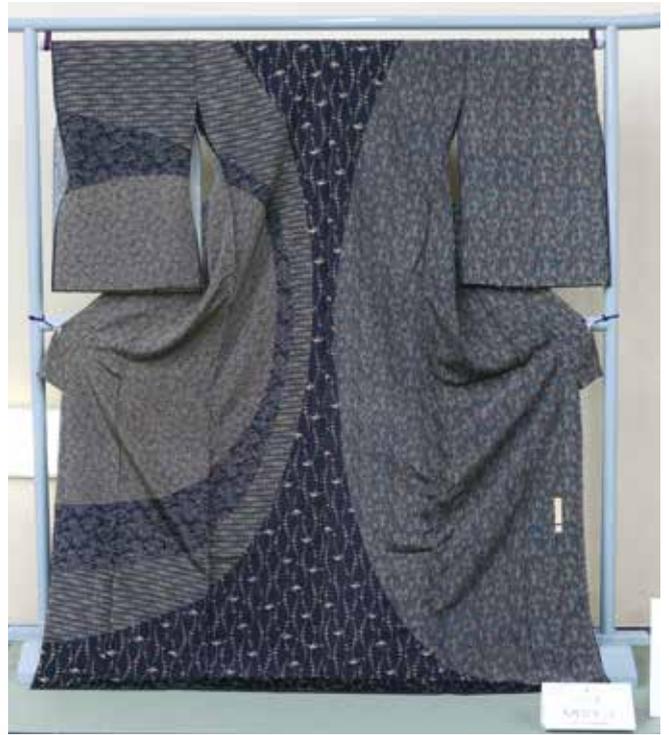
訪問着 紺碧の海と光
村田佳子 東京

NHK 京都放送局長賞



着物 俊寛
六本木淑恵 東京

協会奨励賞



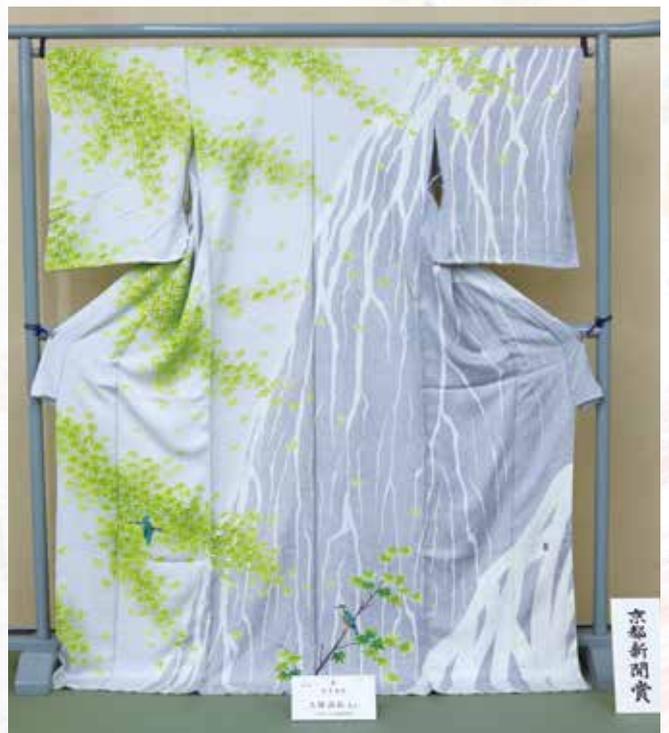
訪問着 江戸の粋
大野信幸 京都

中日新聞社賞



訪問着 鳳凰古城
伊藤順子 愛知

京都新聞賞



訪問着 若葉爽風
上條益弘 東京

●入賞作品

セイコきもの文化財団賞



振袖 花生姜
大石和子 京都

大阪高島屋賞



訪問着 はな
三浦恭示 京都

佳 作



訪問着 記念樹
広田恵子 静岡

佳 作



訪問着 祈り
石田万介 京都

● 審査委員・監査委員・無鑑査



訪問着 凧
木戸源生 京都



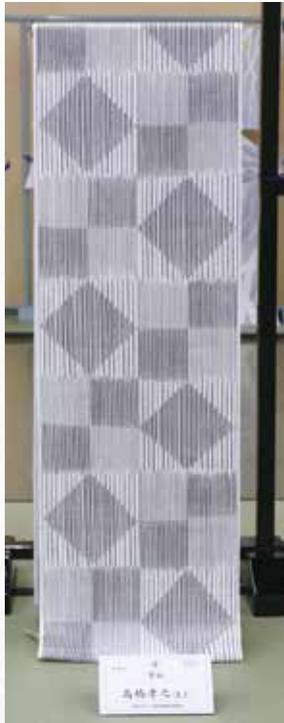
訪問着 春風
上村米重 京都



訪問着 静雅
田畑喜八(禎彦) 京都



染帯 粹縞
高橋孝之 東京



染着尺 響縞
高橋孝之 東京



訪問着 波光
高橋孝之 東京



社交着 何処へ
森久保安奈 東京

● 正会員・準会員・会友



紬織着物 「想」茜
半田たか子 長野



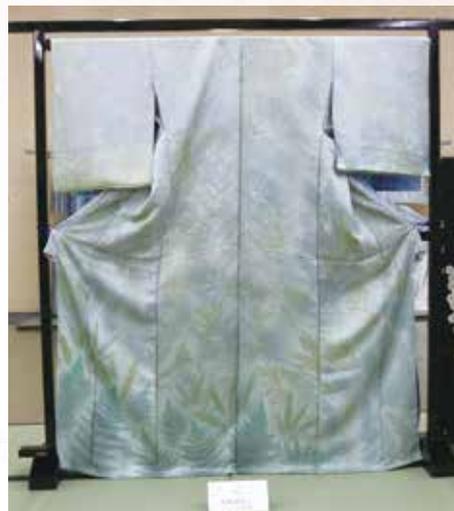
訪問着 花の宴
村田佳子 東京



染名古屋帯 面影橋
小倉貞右 東京



訪問着 いつか来た道
片山朱実 京都



訪問着 静寂
堀部満久 愛知



紬織着物 風の Rond
地引千恵子 東京



紬織着物 梅香る
玉造諄子 埼玉



訪問着 アクロポリスの恋人
黒田庄七郎 京都



帯 亀甲模様
金城盛弘 沖縄



帯 水面の花火
金城盛弘 沖縄



訪問着 松
中嶋剛司 京都



単衣 ながれ
三浦恭示 京都



訪問着 春うらら
富田禎子 東京



訪問着 四季花浪漫
河野雅之 京都

● 公募・学生



訪問着 総箔市松垣根に鳶
野口清和 埼玉



訪問着 氷溪
佐藤さとみ 東京



訪問着 蒼天の華
横山倫子 山梨



帯 人魚姫
水野可菜 愛知



帯 クロコダイル・プリティ
菊池光子 東京



帯 花影に白猫
豊泉ひろみ 東京



帯 陽光に映える
小俣真実 東京



帯 牡丹ジレンマ
福王子琉華 東京



訪問着 夜香る花
岡本黎子 京都



訪問着 樹漣
高橋敬造 東京



訪問着 竹林
小糸太郎 京都



夏訪問着 立華
相井一男 京都



訪問着 阿智の春
相井一男 京都



男性用巾着 桜の秋
結城和子 京都



染帯 梅花黄蓮
成河泰子 京都



訪問着 湖上氷結
寺坂ひとみ 滋賀



タペストリー 守る
臧傑 東京



訪問着 風光
堤小夜 京都



半襟 牡丹・檸檬
あんどう遊 京都

KIMONO SALONE 2021

10/23[土] 24[日]
10:00-18:00

きものサローネ

東京国際フォーラム

きもの新時代幕開け

入場チケットの
購入方法や詳細は



きものサローネ2021
公式ホームページから
<https://kimono-salome.com/>

きものファッションショー | きものカーニバル | 会場: 東京国際フォーラム Eホール
[入場料(2日間共通券 当日¥1,500 前売¥1,000)] 詳しくは公式HPをご覧ください。

主催: きものサローネ2021 実行委員会 後援: 東京都 / 東京繊維卸商業組合 / 京都繊維卸商業組合 / 西陣織工業組合 / 名古屋繊維卸商業組合

新型コロナウイルス感染症の状況を踏まえ、感染予防と流行拡大防止のための対策を実施します。社会情勢を鑑み、感染リスクへの対応が整わない場合は、開催中止の場合もあります。また方が、一時的に会場者数が増えた場合、イベント当日に入場制限をさせていただく場合がございます。ご理解・ご了承いただきますようお願いいたします。



きものサローネ 2021

東京国際フォーラム



9回目を迎えるきものサローネは、会場を東京・日本橋から有楽町の東京国際フォーラム E に会場を移し内容もスケールアップして開催される。会場が変わっても初回からのコンセプト「きもの文化、着る文化」の伝承、発展のために活動を推進しきもの姿で街の賑わい、きもの市場の活況を創出すること。きもの使い手（消費者）、つなぎ手（問屋）、作り手（メーカー）が一同に集う場「きものサローネ」を開催し、「きものが面白い、楽しい、そして新たな可能性」に変わりなく、広く、強く、啓発することを目的に開催する。日頃きものと接する機会がない人たちに「きものサローネ」が、きものとの橋渡しになることを願い、きものに関心を持ってもらう発信源としての役割を発揮することを強く意識して取り組んでいる。

きものユーザーだけでなく
業界人にも見てほしい

「きものサローネ2021」実行委員会は、三勝株式会社代表取締役の天野豊氏を実行委員長に和装関連企業の有志が集まって実行委員会を結成し、助成金を受けず、ボランティア活動として運営している。そして、天野実行委員長は「きものサローネはきものファンが集うイベントですが、この賑わいを、この熱気を、きもの将来がまだまだあることを、きもの業界に携わる人にぜひ見てほしい」と話す。

きものマルシェ&きものカーニバル

○きものマルシェ

「きものマルシェ」は、きものファンが待ち焦がれたきもの縁日。2日間限定で101のショップがオープン。最新の着物や帯はもちろん、小物や和雑貨まで勢揃い。きものファンお待ちかねのきもの大縁日。

そして、きものマルシェに出店の各ショップがコーディネートしたマネキン着姿が会場内にずらりと並び「ブランドファッションコーデ」。受付で渡されるアンケート用紙に3点を選んで投票しBEST10が決まる。投票者には抽選で商品が当たる。



○きものカーニバル

①きもの産地展

西陣織工業組合、浜縮緬工業協同組合、京鹿の子絞振興協同組合、からむし後継者育成協議会がブース出展。

②第3回学生きもの優秀作品展II

学生デザイン作品発表会

③MONO project

各ショップがセレクトしたきもの雑貨コーナー、お気に入りを見つけて人気投票に参加すると展示商品などが当たる。

④ステージイベント 特設ステージで24日のみ開催。

- 10:15 ~ 10:45 雅楽七人衆演奏
- 11:30 ~ 12:10 BOYS AND MEN
- 13:00 ~ 13:30 着付師サミット
- 14:00 ~ 14:30 宝図化レビュージャパネスク浪漫・炎樹
- 15:00 ~ 15:20 エスコートダンス
- 16:30 ~ 17:00 京鹿の子絞ファッションショー

TOKYO KIMONO COLLECTION

きものファッションショー

10月23日(土) 東京国際フォーラム E ホール

きものサローネの核となるランウェイイベント TOKYO KIMONO COLLECTION。今回も京都から4メゾンが「日本人のルーツの一つであるきものをクールでなおかつ最新のファッションとして発信する」という気持ちを込めて作り上げた新作を発表する。

↑1st STAGE

初出展の笹屋卯兵衛。創業283年の西陣産地問屋木村卯兵衛株式会社が展開するオリジナルブランド「笹屋卯兵衛」。テーマは「古典と現代の融合」。伝統を重んじつつ、伝統にとられない表現をすべて西陣織の素材を使って作り上げた。西陣御召や白御召に染め上げられたきものと西陣織の帯など、伝統かつ最新の技術を見ることができる。



↑2nd STAGE

「室華風」。斬新なのにエレガンス。モダンなのにクラシック。フレッシュなのに粋。他の創作きものと一味違う品格と個性。それは室華風のきものを創るスタップが古典的なきものを知ったうえで意匠に独自性を追求し、どの作品にもそのこだわりが反映されている。そしてきものをエレガンスなファッションとしてとらえる一方、よりクオリティの高い工芸品を目指している。



↑3rd STAGE

綺萌野「青野保夫」。5回連続出展のろうけつ染作家青野保夫氏はロックミュージックをこよなく愛し、ショーのBGMが全てBEATLES。着る人の個性を引き出し、着て楽しいきもの、踊りだしたくなるきものを創る。楽しさのあふれるショー構成はランウェイをダンスフロアに変えてしまふ。



↑4th STAGE

JOTARO SAITO。今回のテーマは「Urban BELGE」。次代の空気を究極のアーバンスタイルとして発信する作品。ランウェイのきものを着てすぐにでも町に出たくなるようなNEW LOOKが展開される。

なお2ndステージと3rdステージの間に2020年に結成した新進気鋭の邦楽器演奏トリオ「蒼」のステージを開催する。



TOKYO KIMONO COLLECTION スケジュール

1st	笹屋卯兵衛	開場 10:00	開演 11:00
2nd	室華風	開場 11:40	開演 13:00
SPECIAL LIVE	蒼	開場 13:30	開演 13:45
3rd	青野保夫	開場 14:30	開演 15:30
4th	JOTARO SAITO	開場 16:20	開演 17:30

TOKYO KIMONO COLLECTION には各メゾン発行の招待状又は全会場共通券(当日1500円、前売り1000円)が必要。各回完全入れ替え制で行われます。